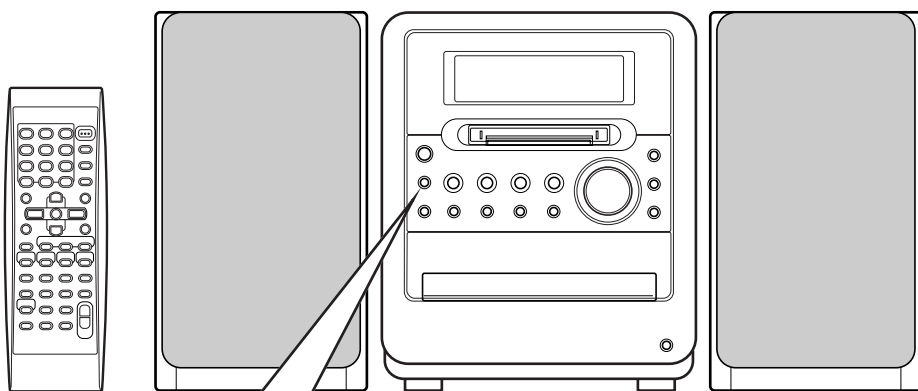
マイクロコンポーネントMDシステム

型名 UX-Q1-A/-S/-W

はじめに
準　備
基本操作
ラジオを聞く
CD／MDを聞く
テープを聞く
他の機器の音声を聞く
録音する
MDを編集する
便利な機能
知っておいてほしいこと

デモ表示について

本機にはデモ表示機能が用意されています。

電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に働きます。

解除するときは、本体の COLOR/DEMO を押します。

詳しくは、「デモ表示機能について」(☞ 10ページ)をご覧ください。

省エネ設計

省エネ回路により本体部は、
電源待機時　消費電力 0.9 W

MDLP

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3〜5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1218-001B

もくじ

もっともよく使う機能に よく使います！ のマークをつけてあります。これだけでひととおり使いこなせます。

安全上のご注意 ―はじめにお読みください―

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

● **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

● 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
● 内部に水や異物が入ってしまったとき
● 落としたり、破損したとき
● 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
● 電源コードを加工しない
● 電源コードを無理に曲げない
● 電源コードをねじらない
● 電源コードを引っ張らない
● 電源コードを熱器具に近づけない
● 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

⚠警告

交流100V（ボルト）以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

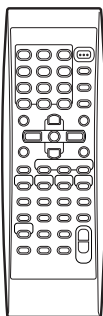
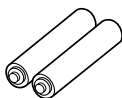
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災·けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

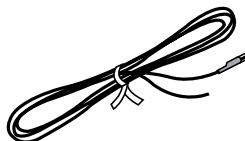
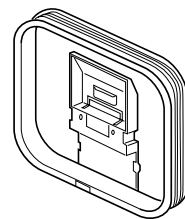
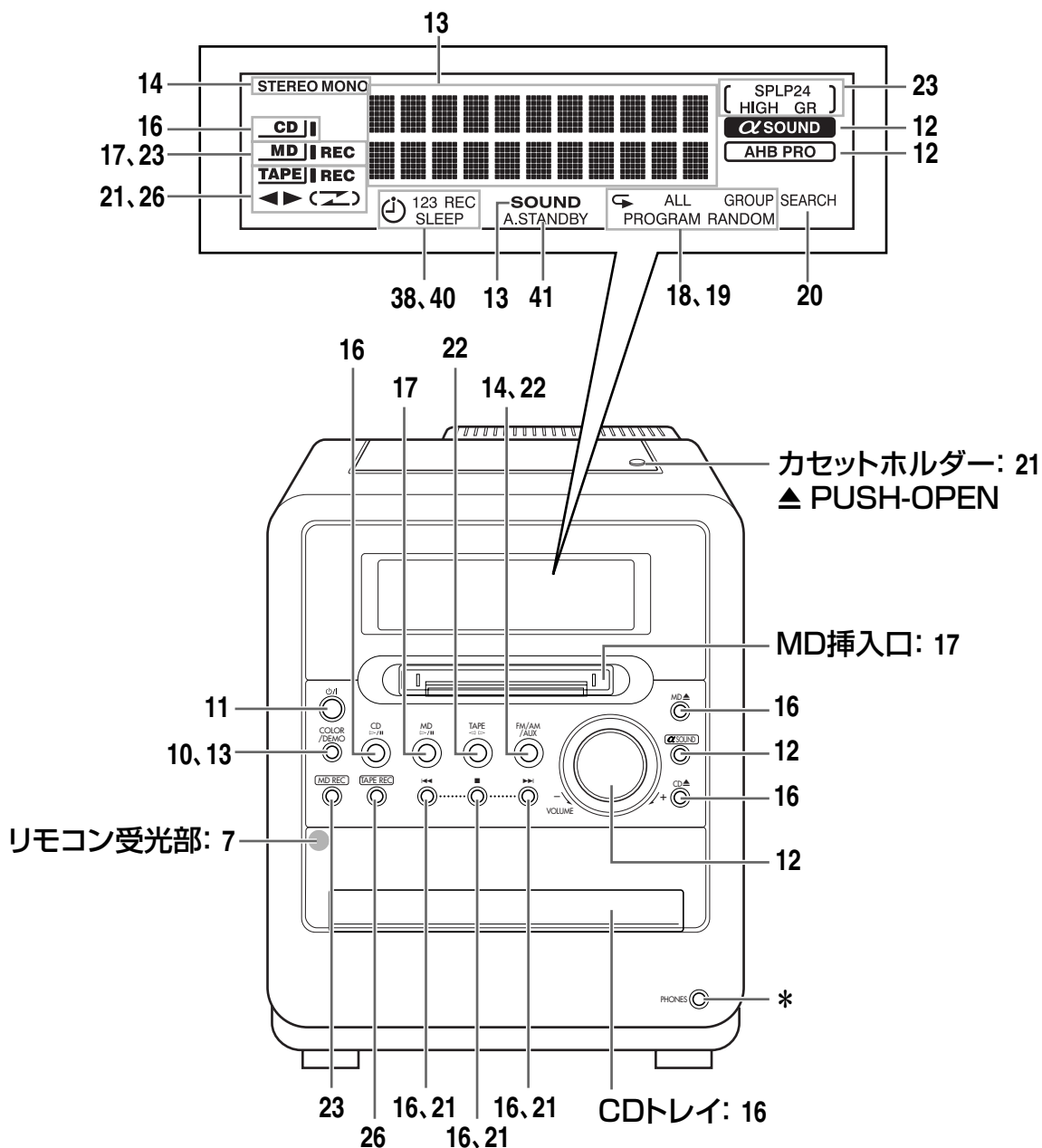
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

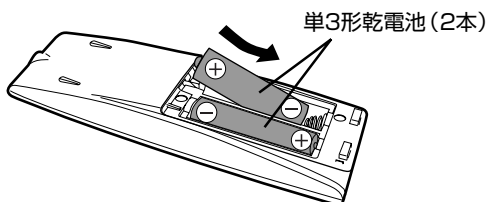
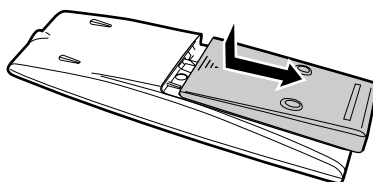
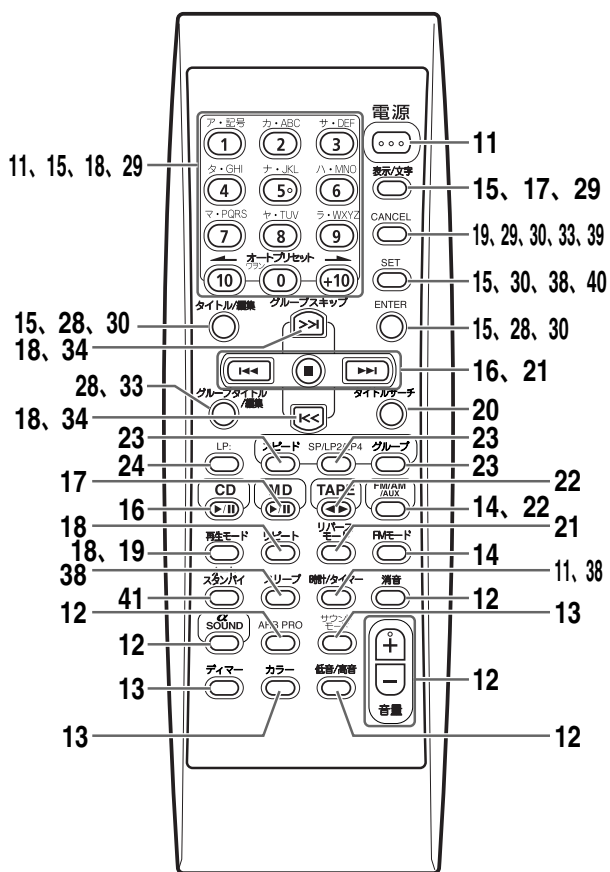
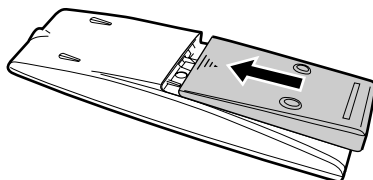
ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

付属品

リモコン(1個)
(RM-SUXQ1-S)

単3形乾電池(2本)
(リモコン動作確認用)

FM簡易型アンテナ
(1本)

AMループアンテナ
(1個)

各部の説明ページ 数字は説明しているページ番号です。

本体前面

＊ステレオミニプラグ付きのヘッドホン（市販品）を接続します。接続するとスピーカーから音が出なくなります。

リモコンについて 数字は説明しているページ番号です。

リモコンに乾電池を入れる

リモコン内部の極性（⊕/⊖）表示に合わせて正しく入れてください。

ご注意

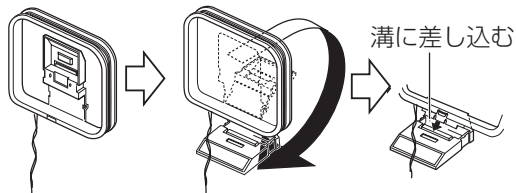
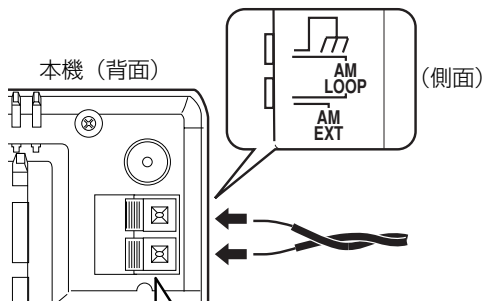
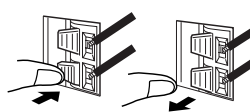
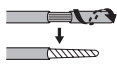
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意(☞5ページ)」をお読みの上、正しく取り扱ってください。

リモコンの操作

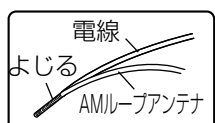
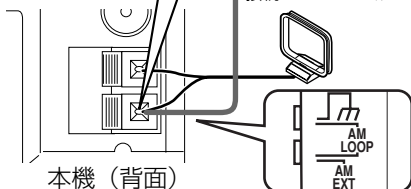
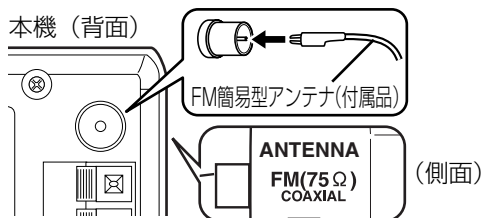
- リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約5m以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

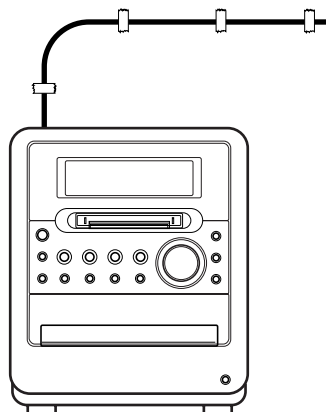
アンテナを接続する

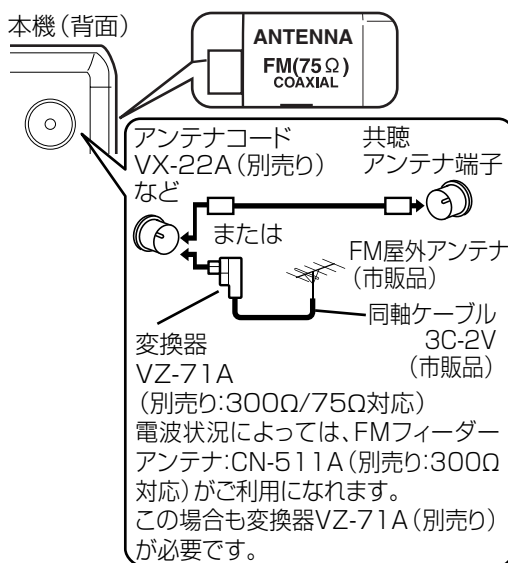
AMアンテナを接続する

1 AMループアンテナ（付属品）を組み立てます。

2 アンテナ線を接続します。

3 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。AMループアンテナは、本体からできるだけ離して置いてください。

- AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

■付属のAMループアンテナではうまく受信できないとき

FMアンテナを接続する

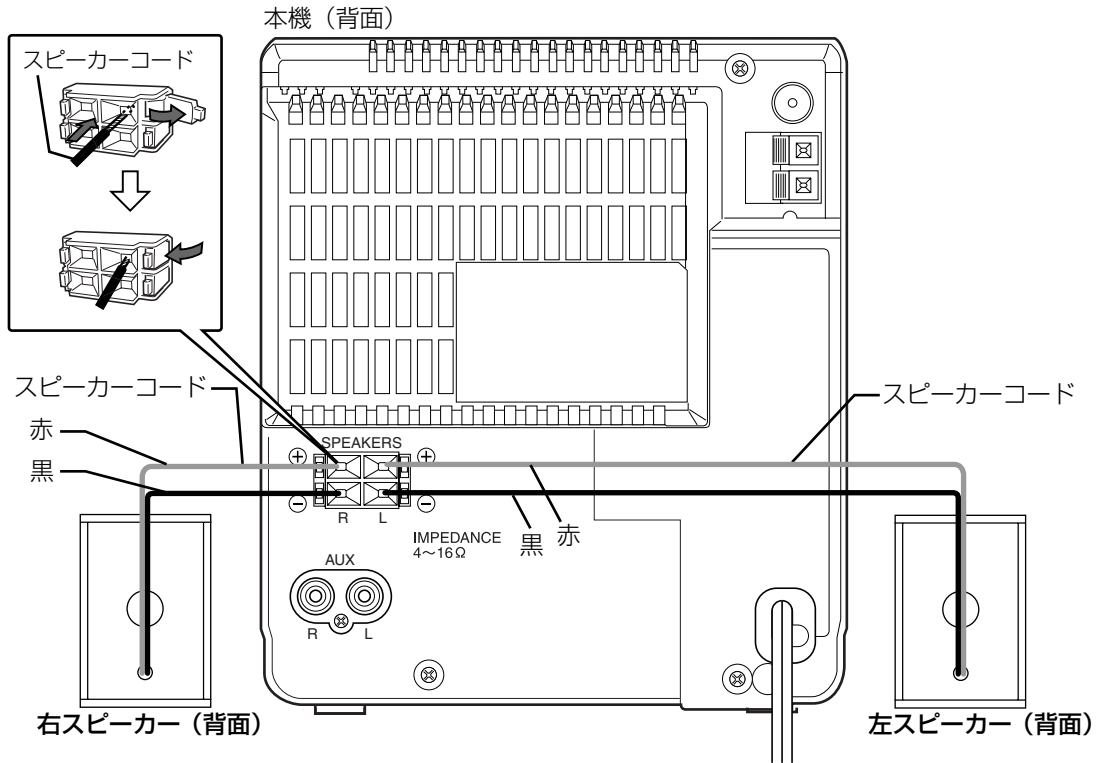
最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

■付属のFM簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

電波状況によっては、FMフィーダーアンテナ:CN-511A（別売り:300Ω対応）がご利用になれます。
この場合も変換器VZ-71A（別売り）が必要です。

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよび変換器の取扱説明書を参照してください。

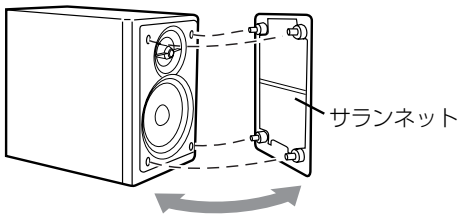
アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください(「ラジオを聞く」☞14ページ)。

スピーカーを接続する

スピーカーには左右の区別はありません。

接続後、スピーカーコードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

ご注意

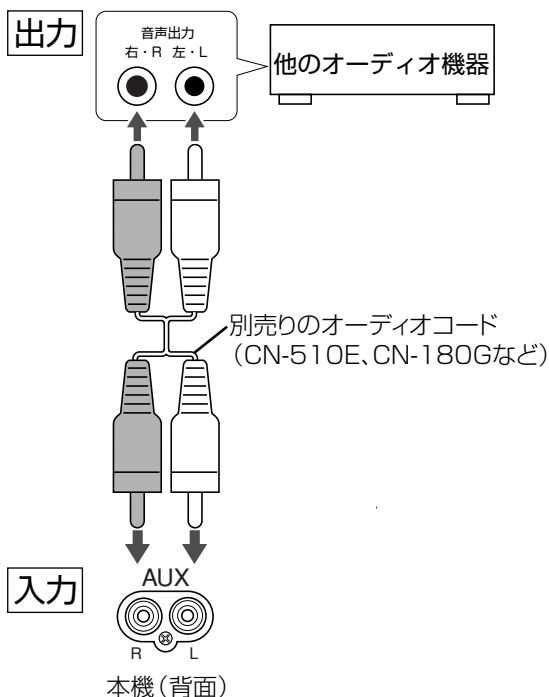
- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。

サランネットは取り外すことができます。

お知らせ

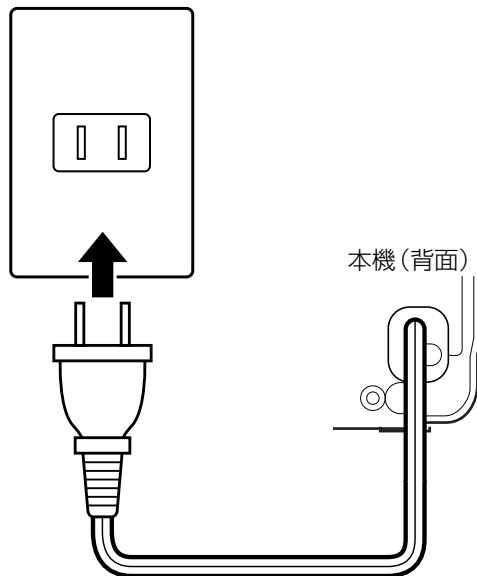
- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4Ω〜16Ωです。
- 本機の内部には、発生した熱を放出するための冷却ファンがあります。自動で回ったり、止まったりします。十分な冷却効果を得るために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm以上間隔をあけてください。
- 本機のスピーカーは、防磁設計(JEITA仕様)になっておりません。テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。

準備

他の機器を接続する

この項目は、本機に他のオーディオ機器を接続して使う場合にお読みください。

ご注意

- 接続するときは、本機だけでなく、接続する機器も必ず電源を「切」にしてください。

電源プラグを接続する

- 電源プラグは、すべての接続が終わってから差し込んでください。

デモ表示機能について

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、表示窓に「DEMO START!」と表示され、デモ表示が始まります。
このときは、本体の COLOR/DEMO を押すと「DEMO OFF」と表示され、デモ表示が解除されます。
また、電源を「入」にするとデモ表示は自動で解除されます。

デモ表示を再開するには

電源「切」のとき本体の COLOR/DEMO を押します。

デモ表示を出ないようにするには

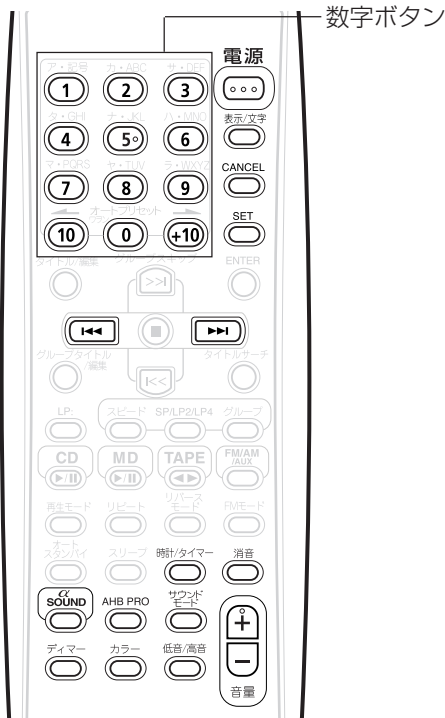
電源「切」のとき、本体の COLOR/DEMO を「DEMO CLEAR」が表示されるまで押し続けます。
電源プラグを抜き差ししてもデモ表示は行われなくなります。
元に戻すときは、COLOR/DEMO を「DEMO START!」が表示されるまで押し続けます。

お知らせ

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜き、安全と節電に心がけてください。

基本操作

本書の見かた

- 主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- 本書内のイラストは、説明のため簡略化や誇張をしているものがあります。
- 本書で説明している以外の方法でも操作できる場合があります。

時計を合わせる

電源が「入/切」どちらの状態でも操作できます。

例:午前10時10分に合わせるとき

1 時計/タイマー を押す

2 「時」を合わせる

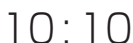
戻す　進める

・押し続けると連続して変わります。
・数字ボタンも使えます。
右の「数字ボタンの使い方」をご覧ください。

3 SET を押す

10:00

・CANCEL を押すと手順2に戻れます。

4 手順2、3と同様の操作で「分」を合わせる

10:10

時計を合わせ直すには

時計/タイマー を4回押して時計を表示させ、手順2から操作します。

使用中に時計を表示させるには

表示/文字 をくり返し押します。

お知らせ

- 本機の時計は24時間表示です。
- 月に1分程度のズレを生じます。
- 電源コードを抜いたり停電があったときは、時計を合わせ直してください。

数字ボタンの使い方

例:
3: 3
13: +10→3
20: +10→10
23: +10→+10→3

電源を入れる/切る よく使います!

電源（または本体の ⏻/I ）を押す

- 電源が「切」の状態で、次のいずれかを押したときも電源が入ります。

リモコン: CD ▷/II　MD ▷/II　TAPE ◁▷　FM/AM /AUX

本体: CD ▷/II　MD ▷/II　TAPE ◁▷　FM/AM /AUX　CD⏏　MD⏏

CD⏏ MD⏏ 以外を押したときはソース（音源）も切り換わります。ディスクやテープが入っているときは、再生が始まります。

音量を調節する よく使います！

を押す

お知らせ
- 本体のVOLUMEつまみを回しても調節できます。
- VOLUME 0～40の範囲で調節できます。

一時的に消音する

消音 を押す

- 「FADE MUTING」と表示され、音量が「0」になります。
- もう一度押すと元の音量に戻ります。

重低音を強調する

AHB PRO を押す

- 押すごとにON/OFFが切り換わります。
- 「オン」のときは表示窓に AHB PRO が表示されます。
- AHB PROは、Active Hyper Bass PROの略です。

音質を調節する

1 低音/高音 を押して「ＢＡＳＳ」または「TREBLE」を表示させる

BASS　：低音を調節できます。

TREBLE　：高音を調節できます。

2 表示窓に「BASS」または「TREBLE」が表示されている間に、音量 を押して音質を調節する

- −5～+5の範囲で調節できます。
- 数秒後に自動で元のソース（音源）表示に戻ります。

お知らせ
- サウンドモードが有効になっているとき（13ページ）は、「NO OPERATE」と表示され、調節できません。
また、サウンドモードを解除すると、ＢＡＳＳ、TREBLE共に「0」に戻ります。

αサウンド

αSOUND を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

- αサウンドが有効になっているときは、表示窓に αSOUND が表示されます。

お知らせ
- 録音される音には影響しません。
- サウンドモードが有効になっているとき（13ページ）、αサウンドを使うとサウンドモードは解除されます。また、αサウンドが有効になっているとき、サウンドモードを使うとαサウンドは解除されます。

αサウンド

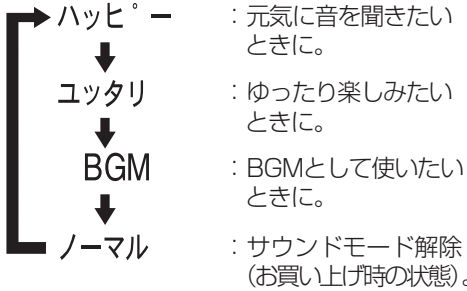
α（アルファ）波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのα DIMENSION SOUNDは、サラウンド回路の要である左右差信号（L－R間接音）にα波周波数でゆらぎを与え（これをＬＦＯ変調といいます）、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

リモコンのボタンの位置は
11ページをご覧ください。

サウンドモード

サウンドモード を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

ハッピー ：元気に音を聞きたいときに。
↓
ユッタリ ：ゆったり楽しみたいときに。
↓
BGM ：BGMとして使いたいときに。
↓
ノーマル ：サウンドモード解除（お買い上げ時の状態）。

- サウンドモードが有効（「ノーマル」以外）になっているときは、表示窓にSOUNDが表示されます。

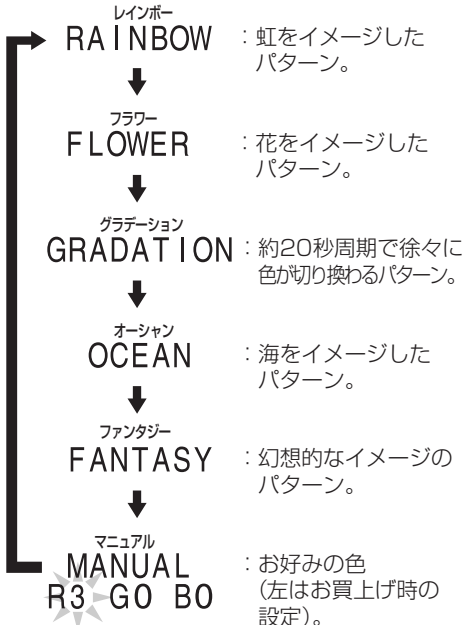
お知らせ
- 録音される音には影響しません。

サウンドモード
ビクターの音響技術を組み合わせ、リスナーの気分に合わせた音の世界を演出します。

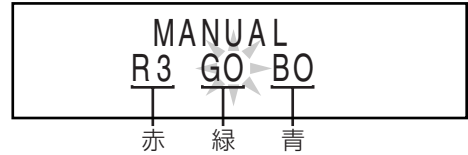
表示窓とCDトレイのカラーパターンを変更する

カラー（または本体の COLOR/DEMO ）を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

RAINBOW（レインボー） ：虹をイメージしたパターン。
↓
FLOWER（フラワー） ：花をイメージしたパターン。
↓
GRADATION（グラデーション） ：約20秒周期で徐々に色が切り換わるパターン。
↓
OCEAN（オーシャン） ：海をイメージしたパターン。
↓
FANTASY（ファンタジー） ：幻想的なイメージのパターン。
↓
MANUAL（マニュアル） R3 G0 B0 ：お好みの色（左はお買上げ時の設定）。

表示窓とCDトレイをお好みの色にする

1 カラー をくり返し押して「MANUAL」を表示させる

2 ⏮ ⏭ を押して、変更したい色を選ぶ

- 選んだ色の数字が点滅します。

3 ＋/－ 音量 を押して色を調節する

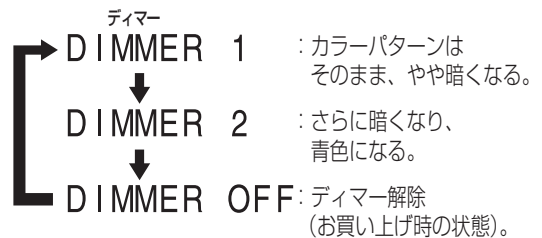
- 各色の数字は0〜3の範囲で調節できます。赤・緑・青の3つ共、「0」にすることはできません。

お知らせ
- 本体のVOLUMEつまみを回しても調節できます。
- 色を調節したあと、約8秒でソース（音源）の表示に戻ります。
- 表示窓とCDトレイを別々の色にすることはできません。
- 本体及びリモコンを操作すると表示窓とCDトレイの色が約2秒間水色になります。
- 録音動作が停止した時、表示窓とCDトレイの色が「MANUAL」で設定した色になり、録音が終了したことをお知らせします。
次に操作をすると選ばれていたカラーパターンに戻ります。

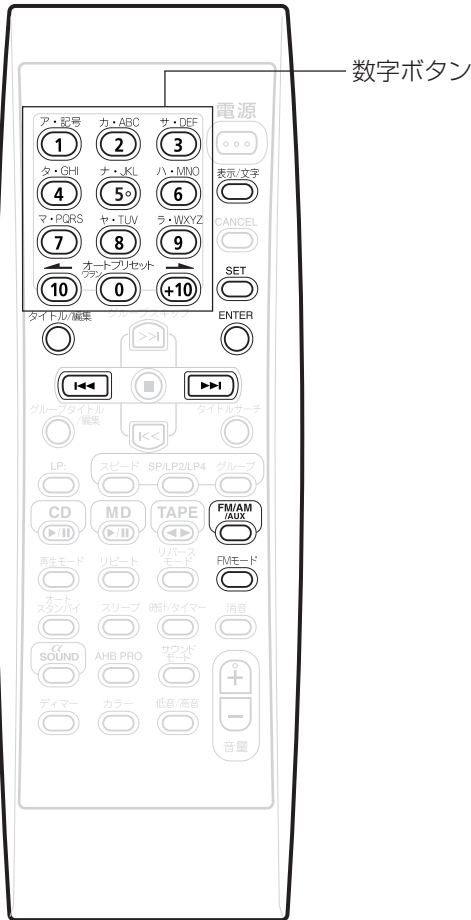
表示窓とCDトレイの明るさを変更する（ディマー）

ディマー を押す

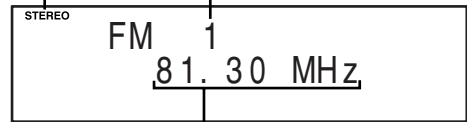
- 押すごとに、次のように切り換わります。

DIMMER 1（ディマー） ：カラーパターンはそのまま、やや暗くなる。
↓
DIMMER 2 ：さらに暗くなり、青色になる。
↓
DIMMER OFF ：ディマー解除（お買い上げ時の状態）。

お知らせ
- カラーパターンを変更すると（カラー を押すと）、ディマーは解除されます。
- 電源を切ったときも、ディマーは解除されます。
- カラーパターンは消すことはできません。

ラジオを聞く よく使います！

FMまたはAMを受信することができます。

放送局を選ぶ

1 [FM/AM /AUX] を押して「FM」または「AM」を選ぶ

例：FM放送を受信中の表示

2 [⏮] または [⏭] をくり返し押して、聞きたい放送局（周波数）を選ぶ

- オート選局（下記）もできます。

オート（自動）選局：
[⏮]または[⏭]を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。
放送を受信すると自動で止まります。
途中で止めたいときは、[⏮]または[⏭]を押します。

- FMステレオ放送を受信すると、「STEREO（ステレオ）」表示が点灯します。

お知らせ

- 本機は、テレビ1ch：95.75 MHz、2ch：101.75 MHz、3ch：107.75 MHzの音声を受信することができます。
- FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、[FMモード]を押し、音声をモノラルにする（「MONO」が点灯）と、聞きやすくなることがあります。もう一度[FMモード]を押すか、別の放送局を受信すると自動的にステレオ受信に戻ります。
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

放送局を記憶させる(プリセット)

FMを最大30局、AMを最大15局まで、それぞれ記憶させることができます。

オート(自動)プリセット

FMとAMそれぞれについて操作してください。

■ FMまたはAMを受信中に

オートプリセット (0) を2秒以上押す

- 受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 前に記憶されていた放送局があっても、新しく記憶された放送局が上書きされます。

オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶された放送局が受信されます。

お知らせ
- 雑音の多い放送局も記憶されることがあります。このようなときはマニュアルプリセットで選び直してください。

マニュアル(手動)プリセット

放送局を1つずつ記憶させます。

■ プリセットしたい放送局を受信中に

1 SET を押す

プリセット番号が約5秒間点滅します。

2 プリセット番号が点滅している間に、数字ボタン((1)～(10)、(+10))を押して記憶させたい番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」(☞11ページ)をご覧ください。

3 選んだ番号が点滅している間に SET を押す

「STORED(ストアード)」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ
同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。

放送局を呼び出す

■ FMまたはAMを受信中に

数字ボタンで、呼び出したい放送局のプリセット番号を選ぶ

「数字ボタンの使い方」(☞11ページ)をご覧ください。

放送局名を入力する

プリセット選局で記憶した放送局に、最大8文字の局名をつけることができます。

1 タイトル/編集 を押す

2 表示/文字 と数字ボタン(ア・記号 (1)～(10)、(+10))で局名を入力する

- 入力方法は「タイトル入力のしかた」(☞29ページ)をご覧ください。

3 ENTER を押す

- 「STORED」と表示され、入力した局名が登録されます。

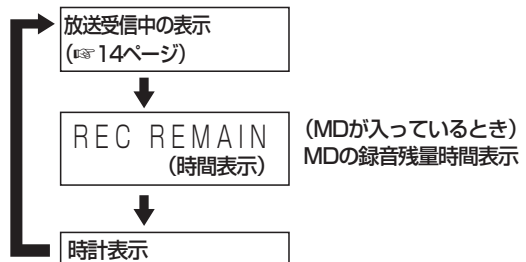
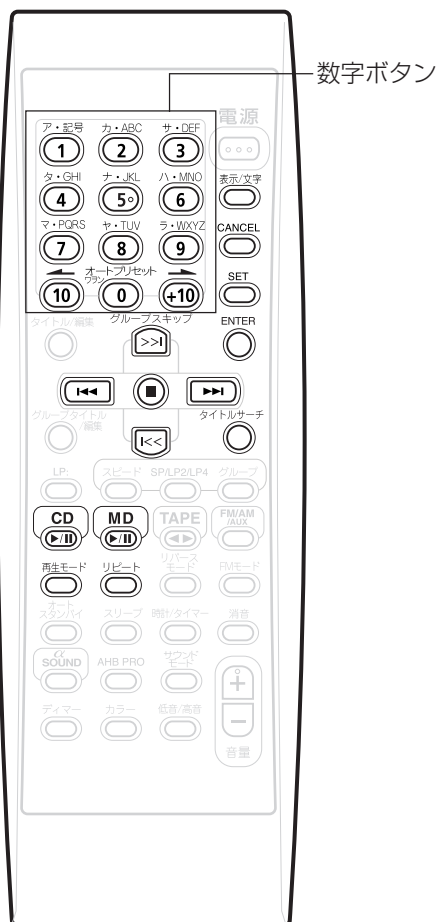
お知らせ
- 放送局名を入力したあと、あらためてオートプリセットやマニュアルプリセットを行うと、局名は削除されます。
- オート選局やマニュアル選局で聞いているときは、放送局名を入力できません。

表示窓の表示を変える

表示/文字 を押す

- 押すごとに、次のように切り換わります。

CD/MDを聞く

	操　作
停止する	■を押す。
一時停止する	再生中にCD、MDを押す。 もう一度押すと再生を再開します。
頭出し（スキップ）	⏮： ⏭：くり返し押す。
早送り・早戻し（サーチ）	⏮： ⏭：再生中に押し続ける。
ディスクを取り出す	本体のCD⏏、MD⏏を押す。

CDを聞く よく使います！

1　本体の CD⏏ を押す

• CDトレイが出ます。

2　CDをCDトレイに置く

• 8センチCDは内側の凹部に置きます。

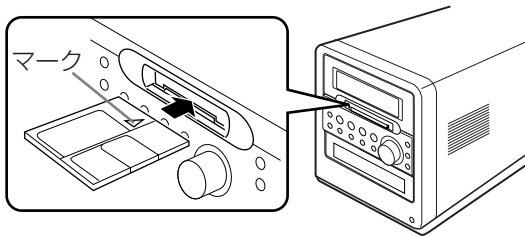
3　CD を押す

■ 再生中の表示

■ 停止中の表示

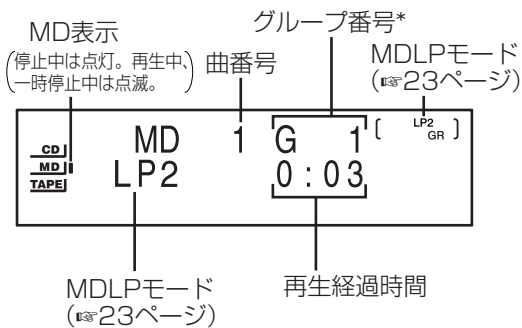
MDを聞く よく使います！

■ 電源「入」のとき

1 MDを入れる

ご注意

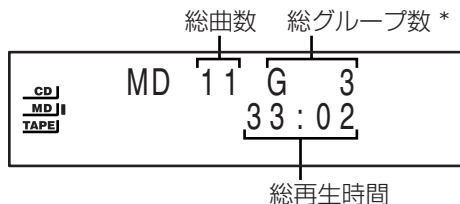
- 電源「切」のときはMDを入れないでください。無理に押し込むと故障の原因となります。

2 MD(▶/II) を押す

■ 再生中の表示

- 曲タイトルがある場合は、最初に表示されます。

＊グループ分けされていないときは「G－－」と表示されます。

- MD表示が点灯または点滅しているとき、新たにMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。

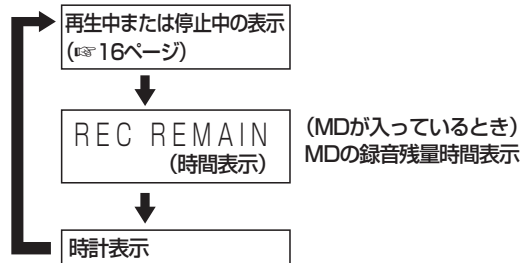
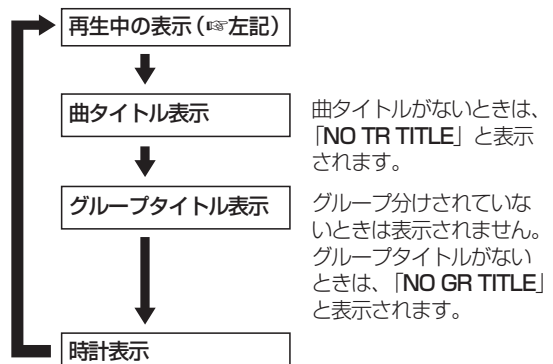
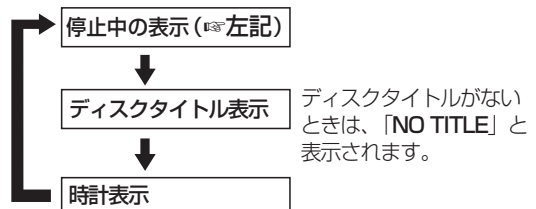
■ 停止中の表示

- ディスクタイトルがある場合は、最初に表示されます。
- 長いタイトルはスクロールされます。

＊グループ分けされていないときは「G－－」と表示されます。

表示窓の表示を変える

表示/文字 を押す

- 押すごとに、次のように切り換わります。

CD再生中（または停止中）のとき

MD再生中のとき

MD停止中のとき

お知らせ

- ソース（音源）がMDのとき、未録音のMDを入れると「BLANK DISC」と表示されます。

聞きたい曲を指定する(ダイレクト選曲)

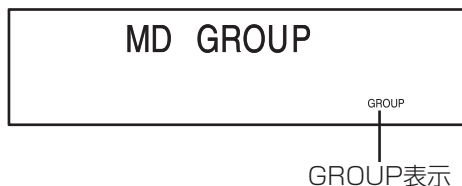
聞きたい曲を数字ボタン(1～10、+10)で選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」(☞11ページ)をご覧ください。

MDのグループ再生

お好みのグループだけを再生できます。

■ MDが停止中に

1 再生モード をくり返し押して「GROUP」を選ぶ

GROUP表示

2 MD ▶/II を押す

- グループ1の再生が始まります。
- グループが1つもないときは、「GROUP」表示が消え、通常の再生になります。

3 グループスキップ >>I または I<< を押して、聞きたいグループを選ぶ

- 選んだグループの曲がすべて再生されると自動的に停止します。

解除するには

停止中に 再生モード をくり返し押して、「GROUP」以外を選ぶ

お知らせ
- MDを取り出したり、電源を「切」にしても、グループ再生は解除されます。

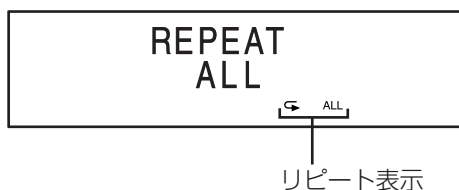
リピート再生

聞きたい曲をくり返し再生することができます。

再生中に リピート をくり返し押してリピートモードを選ぶ

- 押すごとに、次のように切り換わります。

例：REPEAT ALLのとき

リピート表示

お知らせ
- CDやMDを取り出したり、電源を「切」にしても、リピート再生は解除されます。

プログラム再生

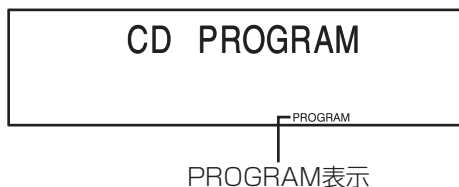
最大32曲までプログラムして聞くことができます。

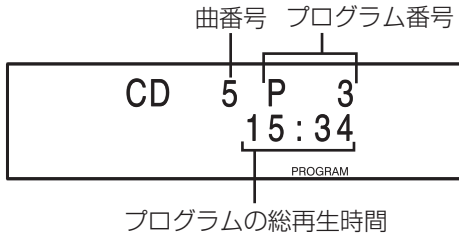
1 CDのとき：CD ▶/II ➡ ■ を押す

MDのとき：MD ▶/II ➡ ■ を押す

2 再生モード を押して「PROGRAM」を選ぶ

例：CDのプログラム再生のとき

PROGRAM表示

3 数字ボタン(①〜⑩、+10)で曲番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」(☞11ページ)をご覧ください。

お知らせ

- プログラムを削除したいときは停止中に CANCEL を押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。CANCEL を押し続けるとプログラムの内容がすべて削除されます。
- 33曲目をプログラムしようとすると「MEMORY FULL」と表示され、それ以上はプログラムできません。
- プログラムの総再生時間が、CDは1時間40分以上、MDは2時間31分以上になると、「--:--」と表示されます。

4 CDのとき: CD ▶/II を押す

MDのとき: MD ▶/II を押す

お知らせ

- CDとMDの曲を組み合わせたプログラム再生はできません。

プログラムの内容を確認する

停止中に ⏮ または ⏭ をくり返し押す

- ここでプログラムを(最後の曲として)追加したり、(最後の曲を)削除することもできます。(☞手順3)

プログラム再生を解除するには

停止中に 再生モード をくり返し押して「PROGRAM」以外を表示させる

- プログラム内容は削除されません。

プログラム内容をすべて削除するには

停止中に CANCEL を押し続ける

お知らせ

- CDやMDを取り出したり、電源を「切」にしてもプログラムの内容は削除されます。また、プログラム再生も解除されます。

ランダム再生

ランダム(無作為)な順序で曲を再生することができます。

1 CDのとき: CD ▶/II ➡ ■ を押す

MDのとき: MD ▶/II ➡ ■ を押す

2 再生モード をくり返し押して「RANDOM(ランダム)」を選ぶ

例:MDのランダム再生のとき

3 CDのとき: CD ▶/II を押す

MDのとき: MD ▶/II を押す

お知らせ

- CDとMDの曲を組み合わせて使うランダム再生はできません。
- ⏮ をくり返し押しても前の曲には戻れません。
- 一度再生した曲は、再び選曲されません。

ランダム再生を解除するには

停止中に 再生モード をくり返し押して「RANDOM」以外を表示させる

お知らせ

- CDやMDを取り出したり、電源を「切」にしても、ランダム再生は解除されます。

タイトルサーチ

MDの曲やグループのタイトルをサーチ（検索）し、再生できます。

1 MD ➡ ■ を押す

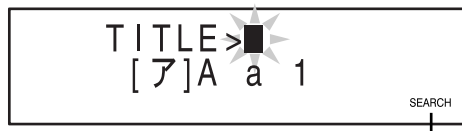
2 タイトルサーチ をくり返し押して、サーチの種類を選ぶ

TRACK T. SEARCH（サーチ）　曲のタイトルでサーチします。

Title（タイトル）の略です。

GROUP T. SEARCH　グループのタイトルでサーチします。（グループ分けされているときのみ有効）

3 SET を押す

例：曲タイトルサーチのとき

グループタイトルサーチのときは「GROUP SEARCH」と表示されます。

4 サーチしたいタイトルを入力する

- 最初の1～5文字まで入力します。
  例：「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順にサーチします。
  「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順にサーチします。
- 文字の入力方法は「タイトル入力のしかた」（☞29ページ）をご覧ください。
- タイトルが記録されていない曲やグループ（NO TITLE）をサーチしたいときは、何も入力しないで手順5に進みます。

5 ENTER を押す

- 「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると再生が始まります。再生が終わると自動で次のタイトルサーチが始まります。

お知らせ

- 空白（スペース）も文字として扱われますが、空白（スペース）の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- 曲が見つからないときは「SEARCH END」と表示されます。

次の曲（またはグループ）をサーチする

▶▶I（または グループスキップ >>I）を押す

タイトルサーチをやめる

タイトルサーチ を押す

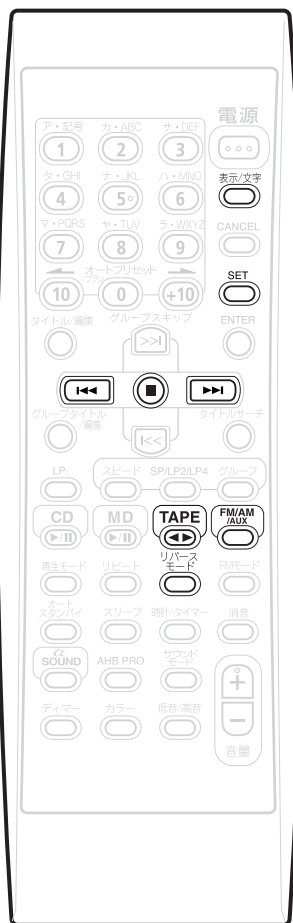
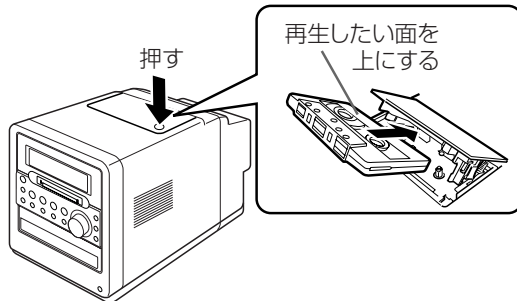
- タイトルサーチが解除され、再生中の曲の頭に戻って再生を続けます。

SEARCH　END

テープを聞く よく使います！

	操　　作
停止する	■を押す。
早送り・巻き戻しをする	▶▶Iまたは I◀◀ を押す。 • 順方向（▶）の再生中は、▶▶Iが早送り、 I◀◀ が巻き戻しになります。 • 逆方向（◀）の再生中は、I◀◀ が早送り、 ▶▶Iが巻き戻しになります。

1 テープを入れる

ご注意

- ご使用の前にテープのたるみを取り除いてください(☞45ページ)。
- C-120やC-150などの長時間テープは使用しないでください。テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。
- 本機は、ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)の再生に対応しています。ハイポジションテープ(TYPE Ⅱ)やメタルテープ(TYPE Ⅳ)は、特性が異なるためお勧めできません。再生すると音質が変わります。

2 リバースモード をくり返し押してリバースモードを選ぶ

: おもて面から
うら面への往復再生

: 両面の連続再生
（再生を停止するまでくり返し）

: おもて面、またはうら面のみの
片道再生

（次ページへ続く）

3 TAPE を押す

- 再生が始まります。
- 電源が「切」のとき、TAPEを押すと自動で電源が「入」になります。
- TAPEを押すごとにテープの走行方向が変わります。テープを入れ、最初にTAPEを押したときは必ず順方向（おもて面）で再生します。
- テープのおもて面再生中は右向きのテープ走行方向表示 ►が、テープのうら面再生中は左向きのテープ走行方向表示◄が表示されます。

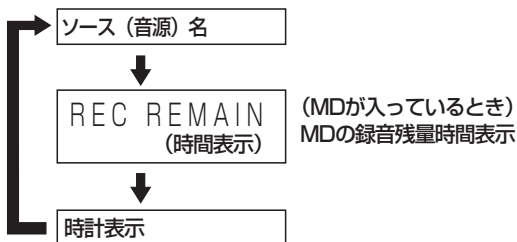
表示窓の表示を変える

表示/文字 を押す

- 押すごとに、次のように切り換わります。

（MDが入っているとき）
MDの録音残量時間表示

他の機器の音声を聞く

リモコンのボタンの位置は21ページをご覧ください。

本機背面のAUX端子に接続した他のオーディオ機器（☞10ページ）の音声を聞くことができます。

1 FM/AM /AUX をくり返し押して「AUX」を選ぶ

AUX

2 他の機器の再生を始める

- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

3 音量などを調節する

- 音量などの調節方法は「基本操作」（☞12〜13ページ）をご覧ください。

他の機器の音声入力レベルを調節する

接続した他の機器の音声入力レベルを調節することができます。
- ソース（音源）がAUXのとき操作します。

入力レベルが表示されるまで SET を押し続ける

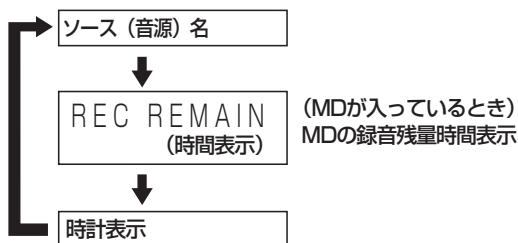
LEVEL1 ：通常はこちらでお使いください。（お買い上げ時の設定）

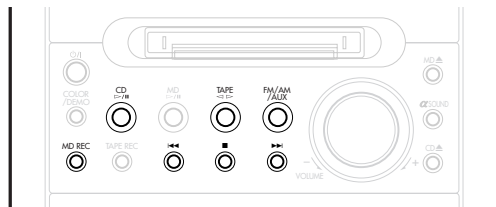
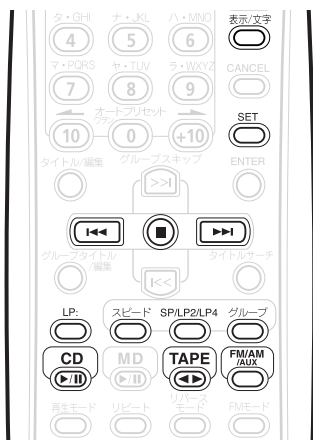
LEVEL2 ：他の機器からの音声入力レベルが小さいときに選びます。

表示窓の表示を変える

表示/文字 を押す

- 押すごとに、次のように切り換わります。

（MDが入っているとき）
MDの録音残量時間表示

MDに録音する よく使います！

本体

リモコン

CDをまるごと1枚録音する

1 CD を押してから ■ を押す

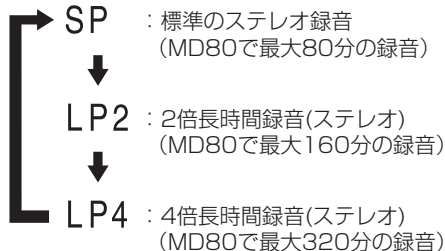
- ソース(音源)がCDになり、**停止状態**になります。

2 MDを入れる

- 誤消去防止つまみは閉じておいてください(☞45ページ)。

3 SP/LP2/LP4 を押してMDLPモードを設定する

- 押すごとに、次のように切り換わります。

SP：標準のステレオ録音（MD80で最大80分の録音）
↓
LP2：2倍長時間録音(ステレオ)（MD80で最大160分の録音）
↓
LP4：4倍長時間録音(ステレオ)（MD80で最大320分の録音）

- MDLPモードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPモードにしてください。
- お手持ちのMD再生機(カーステレオやポータブルMDプレーヤーなど)がMDLPに対応していない場合はSPモードにしてください。

4 グループ を押してグループ録音を設定する

- 押すごとに、次のように切り換わります。

GROUP REC ON：グループとして録音します(お買い上げ時の設定)。
↕
GROUP REC OFF：グループとして録音しません。

- グループは、録音後にまとめたり解除することができます。(☞33、36ページ)

5 スピード を押して録音スピードを選ぶ

- 押すごとに、次のように切り換わります。

HIGH SPEED：倍速録音
CDの収録時間が30分以上の場合は5倍速、30分未満の場合は4倍速で録音されます。
↕
NORMAL REC：等速録音

- 録音される音質はどちらでも同じです。
- 倍速録音中に音声を聞くことはできません。

6 本体の MD REC を押す

録音中の表示例：

CD 1 0:59 LP2 HIGH GR
REM 42:30

MDLPモード
録音残量時間
倍速録音のとき点灯します。
グループ録音ONのとき点灯します。

- 録音が終了すると、表示窓とCDトレイのカラーパターン(☞13ページ)がMANUALカラーに変化してお知らせします。
- 「HCMS CANNOT COPY」が表示されたときは44、46ページをご覧ください。

お知らせ

- 録音時のレベルは自動で調節されます。
- 倍速録音ではCDを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。このようなときは、等速で録音してください。
- 録音残量時間は、そのときの録音に使われるMDLPモードに応じて異なります。
- リピート再生での録音はできません。録音を開始すると自動でリピート再生が解除されます。

録音を途中でやめる

■ を押す

CDの中の１曲だけを録音する

23ページの手順6の前に、録音したい曲を再生する

- 手順6で MD REC を押すと、曲の頭に戻り、その曲だけが録音されます。
- 倍速録音は4倍速です。

CDの途中の曲から最後の曲まで録音する

23ページの手順6の前に、⏮ ⏭ で曲番号を指定する

- 倍速録音は4倍速です。

CDをプログラム録音する

23ページの手順5の前に、録音したい曲をプログラム(☞18ページ)する

- 録音スピードは等速を選んでください(手順5)。
  「HIGH SPEED」を選んで手順6を行なうと「CANNOT REC ×1 REC ONLY」と表示され、録音されません。

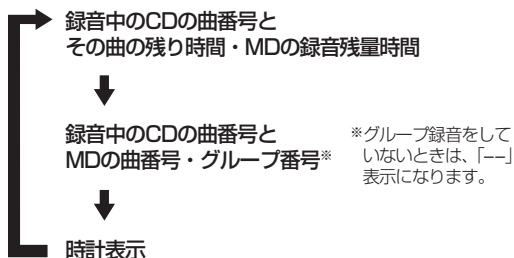
録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

表示/文字 を押す。

- 押すごとに、表示が次のように切り換わります。

録音中のCDの曲番号と
MDの曲番号・グループ番号※

※グループ録音をしていないときは、「--」表示になります。

時計表示

MDへの録音について(知っておいてほしいこと)

- 1枚のMDに異なるMDLPモードの曲を混在させて録音することもできます。
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。

ご注意

- LP2またはLP4で録音された曲は、MDLPに対応していない機器では再生できません。曲タイトルの始めに「LP: 」と表示され、無音状態になります。MDLPに対応した機器で再生すると「LP:」は表示されません。
  LP: を押して、「LP:」をつけるかどうか設定することができます。(☞下記)

- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。これ以上録音しようとすると「DISC FULL」が表示されます。
- すでに途中まで録音してあるMDのときは、本機が未録音部分を探して録音します。
  テープのように上書きで録音することはできません。
- 録音中は、本機の音量･音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- 音楽CDの音声はデジタル信号のまま録音されます。ラジオ、AUXの音声は、アナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。

ご注意

- MDの録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING（ライティング）」(書き込み中)の表示中は注意してください。MDが再生できなくなるおそれがあります。

CD-R/CD-RWディスクの録音について

- CD-RまたはCD-RWディスク(デジタルオーディオ)の音声をMDに録音するとき、MD REC を押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示され自動的に等速のアナログ録音になります。
- MD REC を4秒以上押し、「ANALOG REC？」が表示されている間にもう一度 MD REC を押して、手動でアナログ録音することもできます。

「LP :」の設定

LP: を押す。

- 押すごとに、表示が次のように切り換わります。

：「LP :」をつける。

(LP:) OFF ：「LP :」をつけない。

ラジオやテープ、他の機器の音声の録音

お知らせ
- 録音レベルは自動で調節されます。
- 他の機器（AUX）の音声を録音するときは、サウンドシンクロ録音になります。サウンドシンクロ録音では、ソース（音源）の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。また、ソース（音源）の音声が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了したMDの空白時間は約2秒になります。

1 録音するソース（音源）を選ぶ

ソース（音源）	操　作
ラジオ放送	録音したい放送局を選ぶ（☞14ページ）。
テープ再生（TAPE）	再生するテープを入れ、TAPE を押してから ◉ を押す。必要に応じて を押してリバースモードを選ぶ。
他の機器の音声（AUX）	FM/AM/AUX をくり返し押してAUXを選び、他の機器の再生を準備する（☞22ページ）。

2 録音用のMDを入れる

- MDLPモードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます（☞23、24ページ）。
- 誤消去防止つまみを閉じておきます（☞45ページ）。

3 本体の MD REC ◎ を約4秒間押し、トラックマーク（曲番号）のつけかたを表示させる

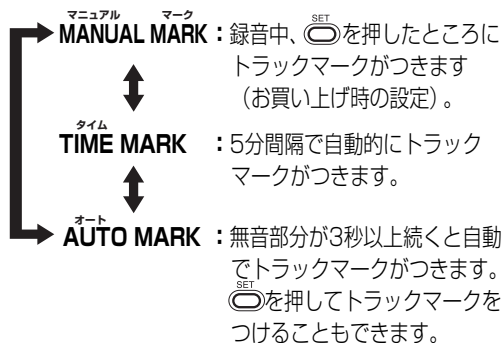
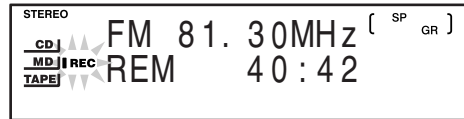
4 トラックマークのつけかたが表示されている間に ⏮ ⏭ を押し、トラックマークのつけかたを選ぶ

- 押すごとに、次のように切り換わります。

マニュアル マーク MANUAL MARK：録音中、SET を押したところにトラックマークがつきます（お買い上げ時の設定）。
↕
タイム TIME MARK：5分間隔で自動的にトラックマークがつきます。
↕
オート AUTO MARK：無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。SET を押してトラックマークをつけることもできます。

5 本体の MD REC ◎ を押す

例：FM放送を録音中の表示

STEREO
CD / MD REC / TAPE　FM 81.30MHz [SP GR]
REM 40:42

- 他の機器からの録音の場合は、「AUX→MD」と表示されるのを待って、接続した機器の再生を始めてください。音声が入力されると、録音が自動的に始まります。
また、MD を押して録音を始めることもできます。この場合はソース（音源）の音声が30秒以上途切れても自動的に停止しません。

録音をやめる

◉ を押す

録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

表示/文字 を押す。
- 押すごとに、表示が次のように切り換わります。

録音中のソース（音源）名と
MDの録音残量時間
↓
録音中のソース（音源）名と
MDの曲番号・グループ番号※

※グループ録音をしていないときは、「--」表示になります。

時計表示

録音する

テープに録音する よく使います！

本体

リモコン

お知らせ

- 録音レベルは自動で調節されます。
- ソース（音源）がCDまたはMDのときは曲間に4秒のあき(ブランク)を作って録音されます。ブランクを作らずに録音することもできます。(☞27ページ)

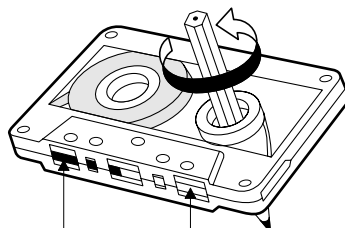
ご注意

- C-120やC-150などの長時間テープは使用しないでください。テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。
- 本機はハイポジション（TYPE Ⅱ）やメタルテープ（TYPE Ⅳ）に対応しておりませんので、使用しないでください。特性が異なるため、正しく録音されません。また、再生しても正しい音質にはなりません。

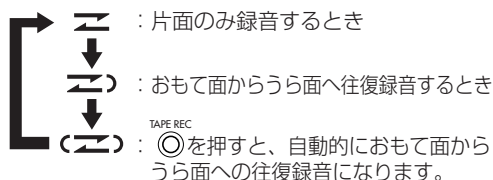
大切な録音を消さないために

・カセットテープには誤消去防止用のツメがついています。ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
・再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

1 録音用のテープを入れる

- リーダーテープの部分は巻き取っておきます。

2 リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

- 押すごとに、次のように切り換わります。

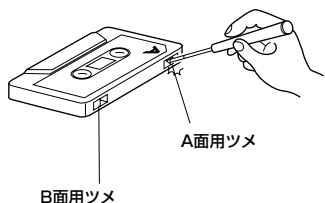
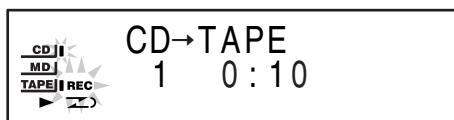
:片面のみ録音するとき
:おもて面からうら面へ往復録音するとき
: TAPE REC を押すと、自動的におもて面からうら面への往復録音になります。

3 録音するソース(音源)を選ぶ

- CDやMDは**停止状態**にしておきます。

ソース(音源)	操　作
CD	CD を押してから ■ を押す。
MD	MD を押してから ■ を押す。
ラジオ放送	録音したい放送局を選ぶ(☞14ページ)。
他の機器の音声(AUX)	FM/AM /AUX をくり返し押してAUXを選び、他の機器の再生を準備する(☞22ページ)。

4 本体の TAPE REC を押す

例：CDを録音中の表示

```
CD→TAPE
 1   0:10
```

- CDやMDは**まるごと録音されます**。
- 他の機器からの録音の場合は、接続した機器の再生を始めてください。
- 録音が終了すると、表示窓とCDトレイのカラーパターン(☞13ページ)がMANUALカラーに変化してお知らせします。

録音を途中でやめる

■ を押す

CDやMDの中の1曲だけを録音する

手順4の前に、録音したい曲を再生する

• 手順4で TAPE REC ◎ を押すと、曲の頭に戻り、その曲だけが録音されます。

CDやMDの途中の曲から最後の曲まで録音する

手順4の前に、⏮ ⏭ で曲番号を指定する

• 手順4で TAPE REC ◎ を押すと、選んだ曲の頭から最後の曲までを録音します。

CDやMDをプログラム録音する

手順4の前に、録音したい曲をプログラム(☞18ページ)する

曲間にあき(ブランク)を作らずに録音する

手順4の前に、CDまたはMDを一時停止状態にする

録音済みのテープの音を消す

手順3で「他の機器の音声(AUX)」を選び、本体の TAPE REC ◎ を押す

• 接続した機器は再生しないでください。

録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

表示/文字 を押します。

• 押すごとに、表示が次のように切り換わります。

■ CD/MDを録音中

・CDまたはMD表示とTAPE表示
・録音中のCDまたはMDの曲番号と再生経過時間

時計表示

■ ラジオ放送(FM/AM)を録音中

・FMまたはAM表示とTAPE表示
・録音中のラジオ放送の周波数

時計表示

■ 他の機器の音声(AUX)を録音中

AUX表示とTAPE表示

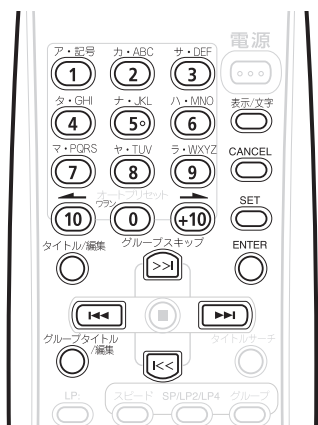
時計表示

お知らせ

• CDやMDを録音中、曲の途中でテープが反転したときは、再生中の曲がもう一度頭から、うら面に録音されます。ただし、おもて面への録音時間が12秒以下のときは、そのひとつ前のトラック(曲)の頭からうら面に録音されます。
• ライブ演奏の記録など、全体が1曲として録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE機能(☞30ページ)を使って、MDの録音内容をテープ片面の長さに合わせて分けてください。

編集の前に/タイトルをつける

編集の前に知っておいてほしいこと

・誤消去防止状態(☞45ページ)になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
・編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
・MDがプログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中は編集できません。

タイトルをつける／編集する

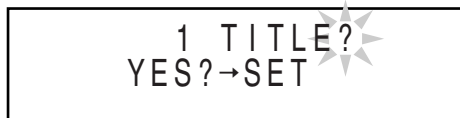
MDにディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

■ タイトルをつけたい曲／グループを再生中に

1 タイトル編集モードに切り換える

ディスク/曲タイトルを編集するとき

• タイトル/編集 ◯ を押し、タイトル編集表示に切り換えます。

```
    1 TITLE?
YES?→SET
```

• ディスクタイトルを編集するときは、⏮をくり返し押して「DISC TITLE?」を表示させます。
• ⏮ ⏭で曲番号を選ぶこともできます。

グループタイトルを編集するとき

• グループタイトル/編集 ◯ を2回押し、グループタイトル編集表示に切り換えます。

• グループスキップ >>I　I<< でグループ番号を選ぶこともできます。

2 SET ⬭を押す

3 数字ボタンでタイトルを入力する

• 入力のしかたは、「タイトル入力のしかた」(☞29ページ)をご覧ください。

4 ENTER ◯を押す

• タイトルがつけられました。

終了したいとき

CANCEL ⬭を押す

続けて、次のタイトルもつけたいとき

SET ⬭を押す → 手順3へ

5 本体の MD⏏ ◯ を押してMDを取り出す

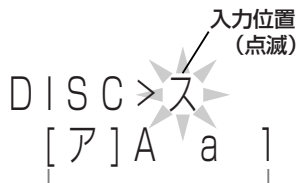
お知らせ

- MDに入力できる文字数について
  1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。
  カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。
  ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭にLP: とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。
  LP:はつけない設定にすることもできます。(☞24ページ)

  例: • ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
  • ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

- 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。
- 録音中にも、タイトルをつけることができます。
  - CDの録音中(1曲録音は除く)は、16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することができます(タイトルリザーブ機能)。
  - 録音が終了するまでにENTERが押されなかったときは、入力した内容は取り消されます。
  - グループ録音中は、そのグループのタイトルを入力できます。

タイトル入力のしかた

例:「ス」と入力するには、
1) 表示/文字をくり返し押して「ア」を[ ]で囲います。
2) サ・DEF 3をくり返し押して、「ス」を表示させます。

入力文字種:
現在選ばれている文字種(例はカタカナ)が[ ]で囲われます。
[ア]: カタカナ
[A]: 英文字・記号
[a]: 英小文字・記号
[1]: 数字

- 1つのボタンに複数の文字が割り当てられています。必要に応じてボタンをくり返し押してください。
- 入力できる文字は「タイトル入力に使える文字」(☞右記)をご覧ください。

文字の入力位置を移動するには

- +10、10を押します。
- 「ウエ」「NO」のように、同じボタンを使う入力が連続するときは、1文字目を入力したあと、+10を押して文字の入力位置を右に移動させてから2文字目を入力します。

文字を削除するには

- 削除したい文字に入力位置を移動させ、CANCELを押します。

「空白」を入力するには

- 「記号」からスペース(空白)を選びます(☞下記)。タイトルの末尾では+10を押して入力することもできます。

タイトル入力をやめるには

- タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押します。それまで入力した内容は取り消されます。

タイトル入力に使える文字

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン゛ー゜			0

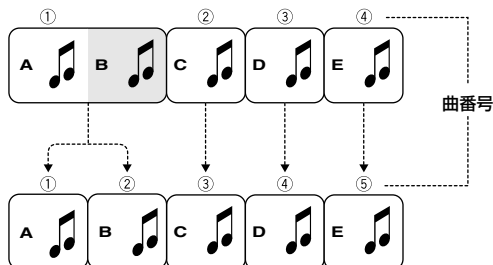
*「記号」で入力できる内容

□スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+
,	–	.	/	:	;	<	=	>	?	@	_	`

・「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入力することができません。

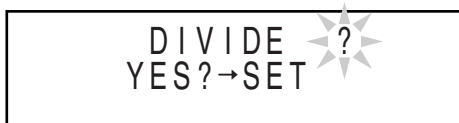
曲を編集する

曲を2つに分ける(DIVIDE)

例: A曲とB曲に分けると

■ 分けたい曲を再生中に

1 タイトル/編集 ◯ をくり返し押して「DIVIDE?」を選ぶ

```
DIVIDE ?
YES?→SET
```

2 SET ⬭を押す

- ⏮ ⏭または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞11ページ)

3 分けたいところでSET ⬭を押す

- 押したところから4秒間がくり返し再生されます。

POSITION(位置)の略です

```
POSIT.     0
OK?→SET
```

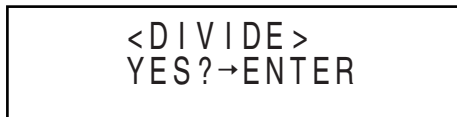
- 現状の位置でよいときは手順5に進みます。
- 分ける位置を微調整したいときは手順4へ進みます。

4 ⏮ ⏭を押す

- ±128ポジション(SP:標準モードで約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。

5 SET ⬭を押す

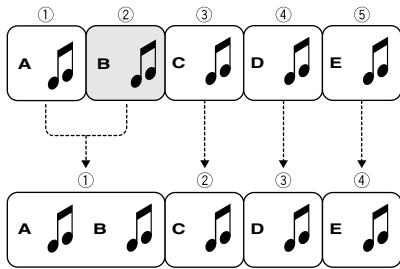
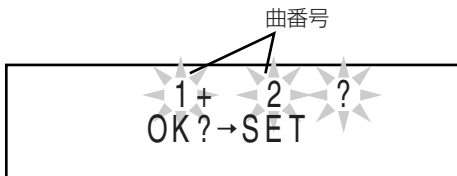
```
<DIVIDE>
YES?→ENTER
```

6 ENTER ◯を押す

お知らせ

- 操作の途中でCANCEL ⬭を押すと前の手順に戻れます。タイトル/編集 ◯ を押すと編集を中止します。
- 254曲録音してあるMDの曲は分けられません。手順3でSET ⬭を押すと「DISC FULL」と表示されます。
- 曲にタイトルがついているときは、分けた曲両方に同じタイトルがつきます。

曲をつなげる(JOIN)

隣り合う2つの曲をつなげることができます。

例：A曲にB曲をつなげると

■ つなげたい2つの曲のうち、後ろのほうの曲(上図の例では2曲目)を再生中に

1 タイトル/編集 ◯ をくり返し押して「JOIN?」を選ぶ

JOIN ?
YES?→SET

2 SET ⬭を押す

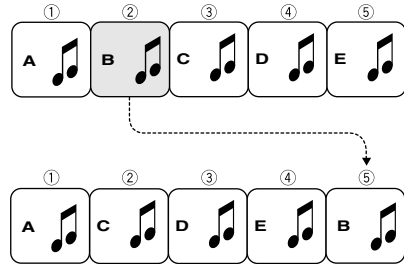
• ⏮ ⏭または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞11ページ)

3 SET ⬭を押す

4 ENTER ◯を押す

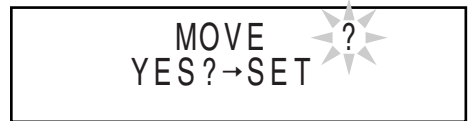
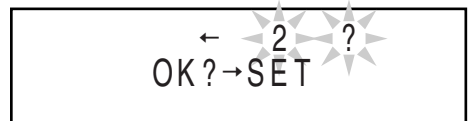
お知らせ
• 操作の途中で CANCEL ⬭ を押すと前の手順に戻れます。タイトル/編集 ◯ を押すと編集を中止します。
• MDLPモード(SP/LP2/LP4)の異なる曲、デジタル録音した曲(CD)とアナログ録音した曲(ラジオ放送など)をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」と表示されます。
• 曲にタイトルがついているときは、番号が小さい方の曲タイトルが残ります。

曲を移動する(MOVE)

例：B曲を移動すると

■ 移動したい曲(上図の例では2曲目)を再生中に

1 タイトル/編集 ◯ をくり返し押して「MOVE?」を選ぶ

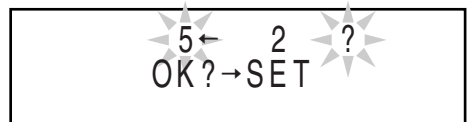
MOVE ?
YES?→SET

2 SET ⬭を押す

• ⏮ ⏭または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞11ページ)

3 SET ⬭を押す

4 ⏮ ⏭を押して、移動先の曲番号を選ぶ

(上図の例では5曲目を選びます)

5← 2 ?
OK?→SET

• 数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞11ページ)
• 移動先の曲番号がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲番号がグループ登録されていない場合、グループ登録された曲を移動するとグループ登録から外れます。

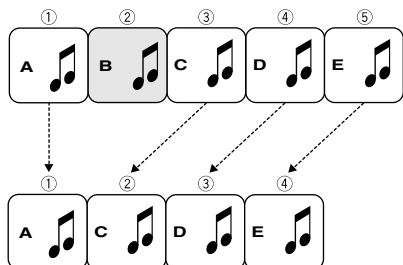
5 SET ⬭を押す

6 ENTER ◯を押す

お知らせ
• 操作の途中で CANCEL ⬭ を押すと前の手順に戻れます。タイトル/編集 ◯ を押すと編集を中止します。

曲を削除する(ERASE) よく使います！

例：B曲を削除すると

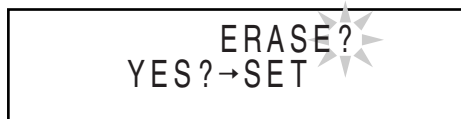
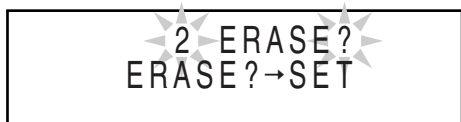
ご注意

- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

■ 削除したい曲（上図の例では2曲目）を再生中に

1 タイトル/編集 ◯ をくり返し押して「ERASE?」を選ぶ

```
      ERASE?
YES?→SET
```

2 SET ⬭ を押す

```
  2 ERASE?
ERASE?→SET
```

- ⏮ ⏭ または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。（「数字ボタンの使い方」☞11ページ）

3 SET ⬭ を押す

- 削除される曲の曲番号の前に「✓」がつきます。
- 間違えたときは、CANCEL ⬭ を押して「✓」を消します。
- ⏮ ⏭、数字ボタン、SET ⬭ を使って、削除する曲を15曲まで選ぶことができます。（「数字ボタンの使い方」☞11ページ）
- 16曲目を選んで SET ⬭ を押すと、「MEMORY FULL」と表示されます。

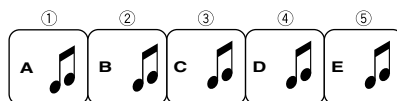
4 ENTER ◯ を押す

5 本当に削除してもよければ ENTER ◯ を押す

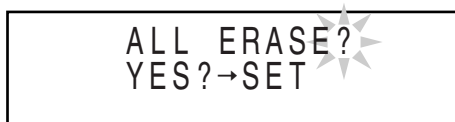
お知らせ

- 操作の途中で CANCEL ⬭ を押すと前の手順に戻れます。
  タイトル/編集 ◯ を押すと編集を中止します。

全曲を削除する(ALL ERASE) よく使います！

ご注意

- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

1 タイトル/編集 ◯ をくり返し押して「ALL ERASE?」を選ぶ

```
ALL ERASE?
YES?→SET
```

2 SET ⬭ を押す

3 本当に削除してもよければ ENTER ◯ を押す

お知らせ

- 操作の途中で タイトル/編集 ◯ を押すと編集を中止します。

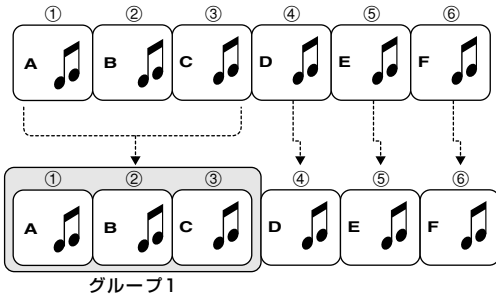
グループ単位で編集する

リモコンのボタンの位置は28ページをご覧ください。

曲(トラック)を最大99のグループに分けて管理することができます。

グループをつくる(FORM GR)

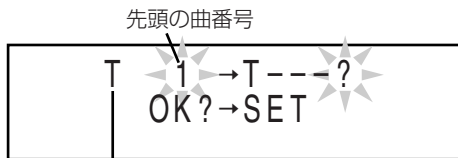
曲をまとめてグループにできます。グループにできるのは、どのグループにも登録されていない連続した曲です。

例: 曲A、B、Cをグループにまとめると

■ グループの先頭にしたい曲(上図の例では1曲目)を再生中に

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「FORM GR?」を選ぶ

• 「GR」は「GROUP」の略です。

2 SET を押す

先頭の曲番号

TRACKの略です。

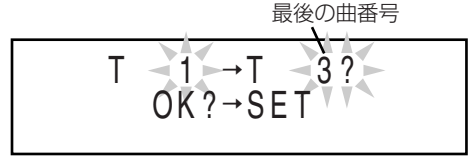
• ⏮ ⏭ または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞11ページ)

3 SET を押す

4 ⏮ ⏭ を押して、グループの最後にしたい曲を選ぶ

(左図の例では3曲目を選びます)

最後の曲番号

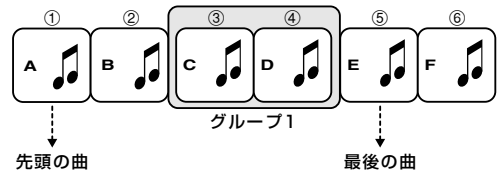
T 1 →T 3?
OK?→SET

• 数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「数字ボタンの使い方」☞11ページ)

5 SET を押す

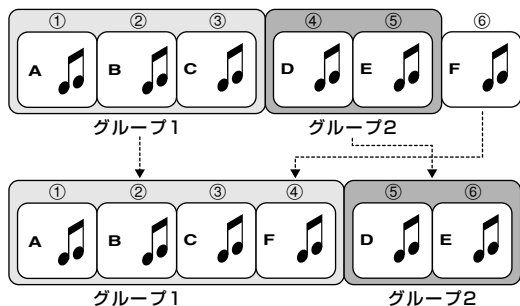
6 ENTER を押す

お知らせ

• 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。
• 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
• 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM!」と表示され、次の手順に進めません。

MDを編集する

グループに曲を追加する(ENTRY GR)

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として追加できます。

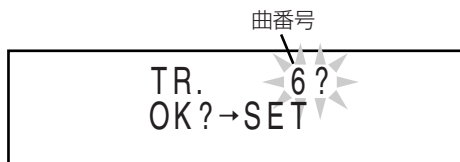
例：グループ1に曲Fを追加すると

■ グループに追加したい曲（上図の例では6曲目）を再生中に

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ENTRY GR?」を選ぶ

2 SET を押す

- ⏮ ⏭または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。（「数字ボタンの使い方」☞11ページ）

3 SET を押す

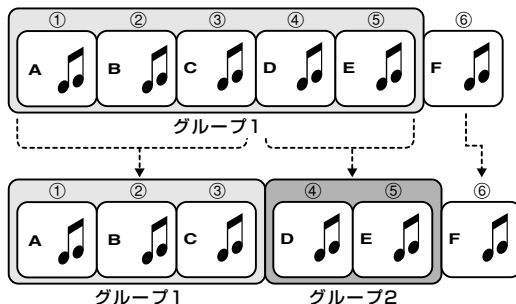
GROUP --?
OK?→SET

4 グループスキップ >>I I<< を押して曲を追加したいグループを選ぶ
（上図の例ではグループ1を選びます）

5 SET を押す

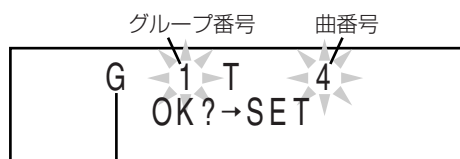
6 ENTER を押す

お知らせ
- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。
- すでにそのグループに属している曲を選んだときは、「CANNOT ENTRY!」と表示され、次の手順に進めません。

グループを2つに分ける(DIVIDE GR)

例：グループ1を2つに分けると

■ 後ろのグループの先頭にしたい曲（上図の例では4曲目）を再生中に

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「DIVIDE GR?」を選ぶ

2 SET を押す

- ⏮ ⏭または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。（「数字ボタンの使い方」☞11ページ）
- グループスキップ >>I I<< でグループ番号を選ぶこともできます。

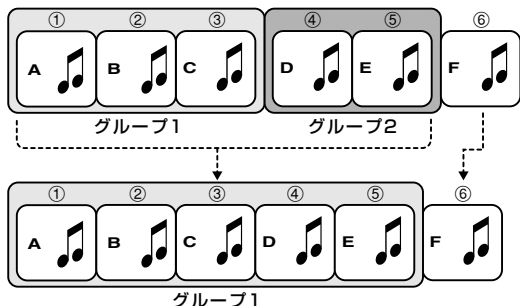
3 SET を押す

4 ENTER を押す

お知らせ
- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。
- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- グループにタイトルがついているときは、分けたグループ両方に同じタイトルがつきます。

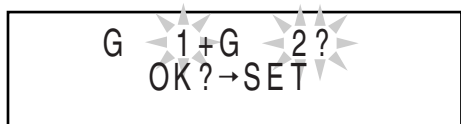
グループをつなげる(JOIN GR)

となりあう2つのグループを1つのグループにできます。

例：グループ1、2をつなげると

■ つなげたい2つのグループのうち、後ろのグループ(上図の例ではグループ2)の曲を再生中に

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「JOIN GR?」を選ぶ**

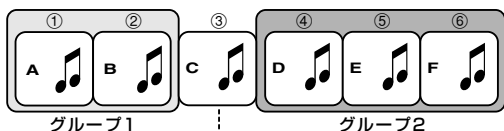
2 SET **を押す**

G 1+G 2?
OK?→SET

- 連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。
- グループスキップ ▷▷I I◁◁ でグループ番号を選ぶこともできます。

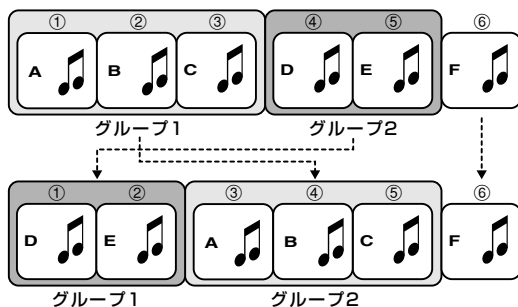
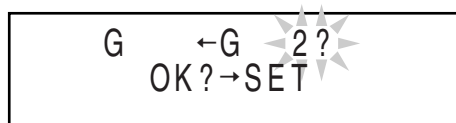
3 SET **を押す**

4 ENTER **を押す**

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。
  グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。
- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。
  「CANNOT JOIN」と表示され、前の手順に戻ります。

- グループにタイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。

グループを移動する(MOVE GR)

例：グループ2を移動すると

■ 移動したいグループ(上図の例ではグループ2)の曲を再生中に

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE GR?」を選ぶ**

2 SET **を押す**

G ←G 2?
OK?→SET

- グループスキップ ▷▷I I◁◁ でグループ番号を選ぶこともできます。

3 SET **を押す**

4 グループスキップ ▷▷I I◁◁ **を押して移動先を選ぶ**

(上図の例ではグループ1を選びます)

G 1←G 2?
OK?→SET

5 SET **を押す**

6 ENTER **を押す**

お知らせ

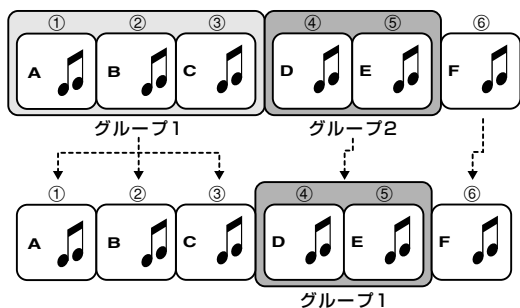
- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。
  グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。

MDを編集する

グループを解除する(UNGROUP/UNGR ALL)

アングループ

指定したグループを解除する(UNGROUP)

例：グループ1を解除すると

■ 解除したいグループ(上図の例ではグループ1)の曲を再生中に

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「UNGROUP?」を選ぶ

2 SET を押す

例：グループ1を解除したいとき

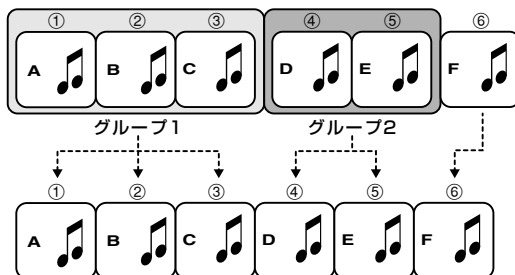
• グループスキップ ▶▶| |◀◀ でグループ番号を選ぶこともできます。

3 SET を押す

4 ENTER を押す

お知らせ
• 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。
グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。

全グループを解除する(UNGR ALL)

例：全グループを解除すると

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「UNGR ALL?」を選ぶ

• 「UNGR」は「UNGROUP」の略です。

2 SET を押す

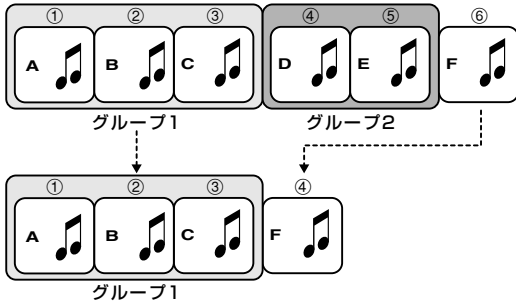
3 ENTER を押す

お知らせ
• 操作の途中で グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。

グループを削除する(ERASE GR)

グループと、そのグループに含まれる曲を削除できます。

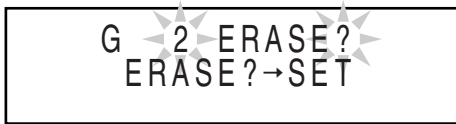
例: グループ2を削除すると

ご注意

- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

■ 削除したいグループ(上図の例ではグループ2)の曲を再生中に

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ERASE GR?」を選ぶ

2 SET を押す

G 2 ERASE?
ERASE?→SET

- グループスキップ >>| |<< でグループ番号を選ぶこともできます。

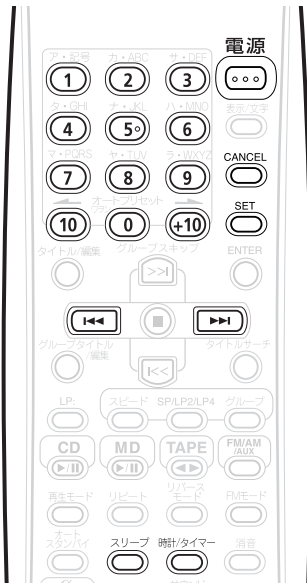
3 SET を押す

4 本当に削除してもよければ ENTER を押す

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。

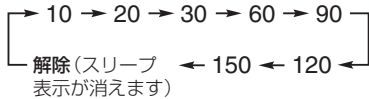
タイマーを使う

タイマー操作をする前に
時計を合わせておいてください。(☞11ページ)

おやすみタイマー

設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。

スリープ を押す

- 押すごとに、時間(単位:分)が次のように切り換わります。

→ 10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 解除(スリープ表示が消えます) → 10

例:おやすみタイマーを60分にしたとき

スリープ表示

お知らせ
- おやすみタイマーを設定すると自動で表示窓が暗くなります。(オートディマー機能)
- 時間を合わせていないとき(「0:00」が点滅しているとき)、スリープ を押すと「CLOCK ADJUST!」と表示されます。

設定した時間を変更するには

- スリープ をくり返し押して時間を選び直します。

設定した時間(残り時間)を確認するには

- おやすみタイマーが設定された状態で、スリープ を1回押します。

録音タイマー

ラジオ(FM、AM)または他の機器の音声をMDまたはテープにタイマー録音できます。
タイマーは、録音タイマーと再生タイマー(☞40ページ)を合わせて3つまで設定できます。

お知らせ
- 設定した内容は、あらためて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。

1 準備をする

ラジオ	タイマー録音したい放送局をプリセットしておく(☞15ページ)
他の機器	その機器の取扱説明書に従ってください。

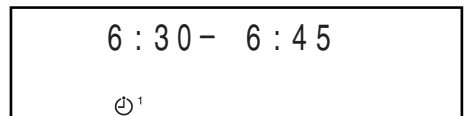
MDに録音したいとき	MDを入れる(☞17ページ)
テープに録音したいとき	テープを入れる(☞21ページ)

2 時計/タイマー をくり返し押して「TIMER1」、「TIMER2」、「TIMER3」のいずれかを選ぶ

例:TIMER 1のとき

3 SET を押す

4 開始時刻と終了時刻を設定する

例:午前6:30から6:45まで録音したいとき

6:30- 6:45

- 時刻の設定方法は「時計を合わせる」(☞11ページ)をご覧ください。

「時」の入力 ➡ SET ➡ 「分」の入力 ➡ SET

5 [⏮][⏭]を押して「ONCE」または「EVERYDAY」を選ぶ

ONCE（ワンス）　：1回だけ動作します。
EVERYDAY（エブリデイ）：毎日動作します。

6 SETを押す

7 [⏮][⏭]を押して「REC TIMER」を選ぶ

- 「REC」は「Recording（録音）」の略です。

8 SETを押す

9 [⏮][⏭]を押して録音したいソース（音源）と録音先の組み合わせを選ぶ

例：FM放送をMDに録音したいとき

FM　→　MD
⏻1　REC

- 他の機器の音声を録音する場合、本機以外の機器をタイマーで動作させることはできません。

■ FMまたはAM放送を録音するとき

- SETを押してから、[⏮][⏭]または数字ボタンを押して録音したい放送局のプリセット番号を選びます。（「数字ボタンの使い方」☞11ページ）

10 SETを押す

- 録音先がMDのときは手順11に進みます。
- 録音先がTAPEのときは表示窓に設定内容が表示されます。確認してから手順13へ進みます。

11 [⏮][⏭]を押してMDLPモード（☞23ページ）を選ぶ

12 SETを押す

- 表示窓に設定内容が表示されます。

13 電源が入っているときは、電源を押して電源を「切」にする

SEE YOU
⏻1　REC

- タイマー録音中の音量は0になり、スピーカーやヘッドホンから音声は出ません。
- タイマーは電源「切」のときのみ動作します。

お知らせ
- 操作の途中でCANCELを押すと前の手順に戻れます。時計/タイマーを押すと設定を中止します。設定内容は記憶されません。
- MDのトラックマークのつけかたを変える場合は、録音タイマーを設定する前か設定を終えてからおこなってください。（☞25ページの手順3と4）

録音タイマーを解除するには

手順2で、解除するタイマーを選びCANCELを押します。タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

同じ内容で再設定するには

手順2で、再設定したいタイマー番号を選び、設定が終了するまでSETをくり返し押します。そのあと電源を「切」にしてください。

お知らせ
- 複数のタイマーを動作させるためには、先に動作するタイマーの終了時刻から2分以上空けて、後に動作するタイマーの開始時刻を設定してください。2分以上空けないで設定すると、後のタイマーは動作しません。
- 電源プラグを外したり、停電などで電源が切れたときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

再生タイマー

1 再生したいソース（音源）を準備する

CD	CDを入れる（☞16ページ）
MD	MDを入れる（☞17ページ）
テープ	テープを入れる（☞21ページ）

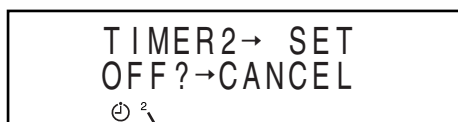
ラジオ	タイマー再生したい放送局をプリセットしておく（☞15ページ）
他の機器	その機器の取扱説明書に従ってください。

2 時計/タイマー をくり返し押して「TIMER1」、「TIMER2」、「TIMER3」のいずれかを選ぶ

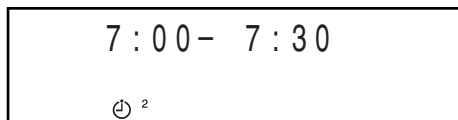
例：TIMER 2のとき

```
TIMER2→ SET
OFF?→CANCEL
⏻ 2
```

タイマー番号

3 SET を押す

4 開始時刻と終了時刻を設定する

例：午前7:00から7:30まで再生したいとき

```
7:00- 7:30
⏻ 2
```

- 時刻の設定方法は「時計を合わせる」（☞11ページ）をご覧ください。
  「時」の入力 ➡ SET ➡ 「分」の入力 ➡ SET

5 ⏮ ⏭ を押して「ONCE」または「EVERYDAY」を選ぶ

ONCE　：1回だけ動作します。
EVERYDAY：毎日動作します。

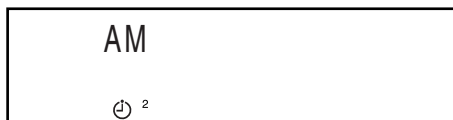
6 SET を押す

7 ⏮ ⏭ を押して「PLAY TIMER」を選ぶ

8 SET を押す

9 ⏮ ⏭ を押して、再生するソース（音源）を選ぶ

例：AM放送を聞きたいとき

```
AM
⏻ 2
```

- 他の機器の音声を再生する場合、本機以外の機器をタイマーで動作させることはできません。
- CDやMDのプログラム再生、リピート再生、ランダム再生、グループ再生はできません。

■ FMまたはAM放送を聞きたいとき

- SET を押してから、⏮ ⏭ または数字ボタンを押して聞きたい放送局のプリセット番号（☞15ページ）を選びます。（「数字ボタンの使い方」☞11ページ）

■ CDまたはMDを再生したいとき

- SET を押してから、⏮ ⏭ または数字ボタンを押して再生を始める曲番号を選びます。（「数字ボタンの使い方」☞11ページ）

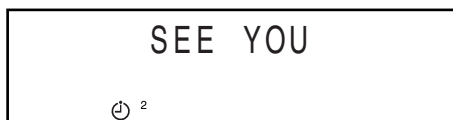
10 SET を押す

11 ⏮ ⏭ を押して、再生する音量を調節する

12 SET を押す

- 表示窓に設定内容が表示されます。

13 電源が入っているときは、電源 を押して電源を「切」にする

```
SEE YOU
⏻ 2
```

- タイマーは電源「切」のときのみ動作します。

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。時計/タイマー を押すと設定を中止します。設定内容は記憶されません。
- 再生タイマーが動作を始めるとき、音量は除々に大きくなり設定した音量になります。（ウェイクアップボリューム機能）

リモコンのボタンの位置は
38ページをご覧ください。

再生タイマーを解除するには

手順2で、解除するタイマーを選び CANCEL を押します。
タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

同じ内容で再設定するには

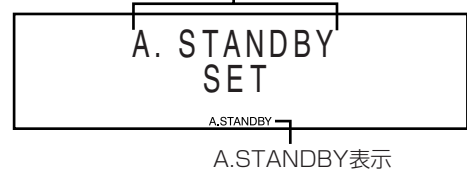
手順2で、再設定したいタイマー番号を選び、設定が終了するまで SET をくり返し押します。そのあと電源を「切」にしてください。

お知らせ

- 複数のタイマーを動作させるためには、先に動作するタイマーの終了時刻から2分以上空けて、後に動作するタイマーの開始時刻を設定してください。2分以上空けないで設定すると、後のタイマーは動作しません。
- 電源プラグを外したり、停電などで電源が切れたときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

オートスタンバイ

ラジオ(FM/AM)以外のソース(音源)のとき無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「切」になります。

■ ソース(音源)がFM/AM以外のときに

オートスタンバイの動作

CD、MDまたはテープを再生しているときや、録音しているとき:
再生または録音が終了すると、オートスタンバイが動作(「A.STANDBY」表示が点滅)し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「切」になります。
3分以内に再生または録音の操作をしたときは、再生または録音が終了してから再度オートスタンバイが動作します。
再生または録音以外の操作をしたときは、最後の操作が行われてから何の操作もせずに3分が経過すると、自動的に電源が「切」になります。

他の機器の音声を聞いているとき:
無音状態になるとオートスタンバイが動作(「A.STANDBY」表示が点滅)し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「切」になります。

電源が「切」になる20秒前になると「A. STANDBY OFF」表示が点滅します。

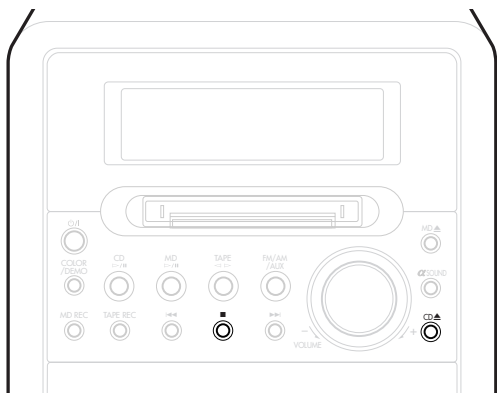
解除するには

オートスタンバイ をもう一度押します。

A. STANDBY
CANCEL

お知らせ

- 音量(ボリューム)を「0」にした状態はオートスタンバイでいう「無音状態」ではありません。

チャイルドロック

CDやMDが取り出せないようにできます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

■ 電源「切」のとき

本体の ■ を押しながら CD⏏ を押す

LOCKED

CD⏏ または MD⏏ を押しても、「LOCKED」と表示され、CDやMDを取り出せなくなります。
また、電源「切」のときに押すと、「LOCKED」と表示され、電源は入りません。

解除するには

■ 電源「切」のとき

もう一度、上記の操作をします。

UNLOCKED

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

CDとCD-R/CD-RWについて

CDについているマークを確認して

文字のある面に、

のいずれかマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

・本機では、CD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CD-R/CD-RW ディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理されているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

・音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。
ただし、ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
・CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
・MP3などの音声ファイルの再生またはCDテキストの表示には対応しておりません。
・音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープや DAT とは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

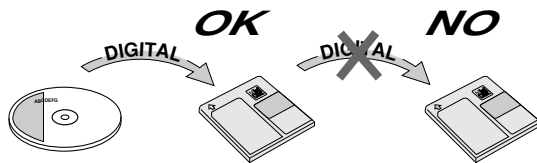
症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。(録音可能な最大トラック数は254曲まで)
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。分けられて8秒以下(SP：標準モード時)の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音(MDLP)モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP：標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル･コピー･マネージメント･システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03－5353－0336(代)

ご注意

- この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。
- デジタル録音したCD-R/CD-RWディスクは、MDにデジタル録音することができません。「SCMS CANNOT COPY」が表示され、アナログで録音されます。

倍速録音に関して(HCMS)

録音用MD(ミニディスク)は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。

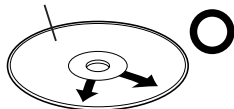
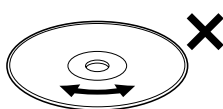
本機では、CDから一度倍速録音(等速を超える録音)した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の録音はできません。

例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速で録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で101曲以上録音することはできません。100曲までの録音ができます。

CD、MD、テープの取り扱いについて

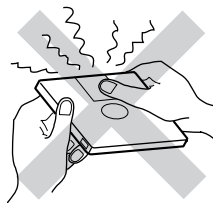
CDの取り扱いかた

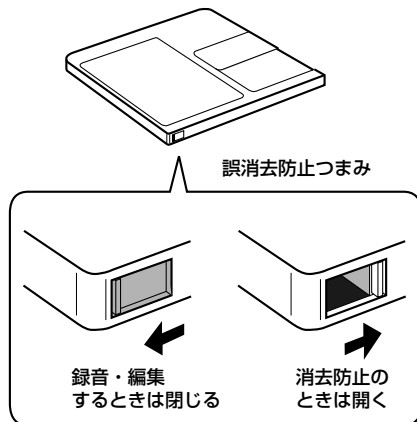
- CDにテープやシールなどを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CDのお手入れ

内側から外側へ柔らかい布でふく

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

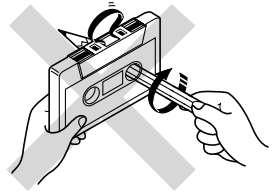
MDの取り扱いかた

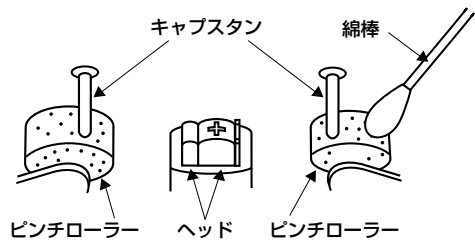
- シャッターは開けないで
  無理に開けようとするとディスクがこわれます。

大切な録音を消さないために

- ＭＤには、大切な録音を間違って消さないための誤消去防止つまみがついています。

お知らせ

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に貼らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。

カセットテープの取り扱いかた

- テープにたるみがありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

テープデッキのヘッド部の清掃

- ヘッド部の清掃
  音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

市販のクリーニングキット（綿棒とクリーニング液）を使うと便利です。

本体表面のお手入れ

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

MD/CDのメッセージ

MDのメッセージ	意味	処置
CANNOT ENTRY!	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(→34ページ)。
CANNOT FORM!	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように曲を選んでください(→33ページ)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を超えている。 (グループに関する情報は、タイトルの領域に記録されます)	それ以上のグループは作れません。 (不要なディスク名や曲名は消してください)
CANNOT JOIN	MDLPモードが異なる曲、または8秒以下(SP:標準モード時)の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT LISTEN	倍速録音中に音量を調節しようとした。	倍速録音中は、CDの音は聞けません。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません。
READ ERROR	MDの情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。それでも同じメッセージが表示されるときはMDの異常(損傷)が考えられます。MDを交換してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください(→44ページ)。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください(→45ページ)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	(停止)を押していったん停止してから、(取り出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作し直してください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(→33ページ)。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	自動で等速のアナログ録音になります(→24ページ)。
TRACK PROTECTED	Net MDのフォーマットで音楽データが記録された(チェックアウト)曲をDIVIDE、JOINまたは消去をしようとした。	Net MDに対応した機器で操作してください。
	本機以外の機器によってその曲が誤消去防止になっている。	録音した機器で編集操作してください。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再び倍速録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待つか、または等速録音にしてください。
BLANK DISC	空のディスクです。	–

CDのメッセージ	意味	処置
CANNOT PLAY	再生できないCDまたは傷の多いCDを再生しようとした。	CDを交換してください。
CD NO DISC	CDが入っていない。	CDを入れてください。

故障かな？と思う前に

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
スピーカーから音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページを参照し、正しく接続し直す。	9
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	6
時刻表示が点滅している。	停電があった。または電源コードを抜いた。	時計を合わせ直す。	11
CD/MDの再生が始まらない。	CDが裏返しに入っている。	文字のある面を上にして入れる。	16
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1 〜2 時間待ち、乾いてから使う。	43
特定の箇所が正常に再生できない。	CDに傷や汚れがある。	CDをクリーニングするか、または交換する。	45
	MDにエラーが発生した。	MDを録音し直す。	23
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	45
MDまたはテープの録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	45
		テープの誤消去防止用ツメをセロハンテープなどでふさぐ。	26
放送が受信できない。	アンテナが接続されていない。	アンテナを接続する。	8
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	43
タイマーが働かない。	時計を合わせていない。	時計を合わせる。	11
	電源が「入」になっている。	タイマー設定後、電源を「切」にする。	38
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池（単3形）と交換する。	7

●上記の処置をしても正しく動作しないときは…
本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

お願い

● 本機の故障または不測の事態により、録音・再生およびCD/MDの再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日･販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」(49 ページ)をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

47ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

項目	内容
品　　名	マイクロコンポーネントMDシステム
型　　名	UX-Q1-A、UX-Q1-S、UX-Q1-W
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　　）　　-

修 理 料 金 の 仕 組 み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

ビクターサービス窓口案内(ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
	土浦 S.S.	(029)821-8756	土浦市富士崎1-10-1
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 246-2588	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03) 3251-2128	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 3874-5231	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(025) 545-1734	上越市五智1-11-2
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝町ビル101号
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.C.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.C.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	山陰ビクター販売（株） 松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0504

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様 ―本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。―

■ MD/CDレシーバー
(CA-UXQ1)

アンプ部

実用最大出力 20W+20W (JEITA/4Ω)
入力端子
<アナログ> AUX×1系統、
500mV/47kΩ:LEVEL1
250mV/47kΩ:LEVEL2
出力端子
<アナログ> スピーカー×1系統、20W/4Ω
適合インピーダンス 4Ω〜16Ω
ヘッドホン(×1)、25mW/32Ω
適合インピーダンス 16Ω〜1kΩ

チューナー部

受信周波数 FM : 76.00MHz〜108.00MHz
(0.05MHzステップ)
AM : 531kHz〜1,629kHz
(9kHzステップ)
アンテナ FM : 75Ω不平衡型
AM : ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式 3プログラム動作(ONCE/EVERYDAY切換可能)
スリープタイマー 10、20、30、60、90、120、150分(オートティマー機能)
時刻表示 24時間表示

CDプレーヤー部

形式 コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数 44.1 kHz
チャンネル数 2チャンネル・ステレオ
周波数特性 20 Hz〜20 kHz +1dB/−2dB (JEITA)

MDレコーダー部

形式 ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式 磁界変調オーバーライト方式
録音/再生時間 録音モード(MDLP)SP :80分
(MD80使用) 録音モード(MDLP)LP2 :160分
録音モード(MDLP)LP4 : 320分
サンプリング周波数 44.1kHz
音声圧縮方式 ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数 2チャンネル·ステレオ

カセットデッキ部

形式 コンパクトカセットステレオ
録音方式 交流バイアス
消去方式 交流消去
ヘッド 消去(2ギャップフェライト)
録音·再生(ハードパーマロイ)} コンビネーション×1
早巻き時間 約145秒(C-60)

共通部

電源電圧 AC 100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力 電源「入」時 50W
電源「待機」時 0.9W
最大外形寸法 幅165mm × 高さ200mm × 奥行355mm
質量 約 5.1kg

■ スピーカー:1本当たり
(SP-UXQ1)

形式 2ウェイバスレフ型
使用スピーカー 低音用 : 11cm ×1
中高音用 : 4cm ×1
最大入力 20W(JIS)
定格インピーダンス 4Ω
再生周波数帯域 56Hz〜20kHz
出力音圧レベル 84dB/W·m
最大外形寸法 幅 135mm × 高さ 200.5mm × 奥行 211.5mm
質量 約 1.9kg(1本)

■ マイクロコンポーネントMDシステム
(UX-Q1)

総　合

最大外形寸法 幅 435mm × 高さ 200.5mm × 奥行355mm
質量 約 8.9kg

- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

索 引

英数字

ア

カ

サ

タ

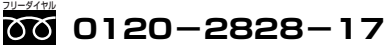
ハ

ラ

別売りのオプション品

• RCA ピンコード	：CN-180G (1 m)、CN-510E (1 m)
• CD レンズクリーナー	：CL-CDLA
• MD レンズクリーナー	：CL-MLA
• アンテナコネクター	：VZ-71A（300 Ω /75 Ω対応）
• FM フィーダーアンテナ	：CN-511A（300 Ω対応） （アンテナコネクター：VZ-71Aと一緒に使います。）

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
49ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は ☎ (03)5684-9311 FAX(03)5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7　ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0504SKMMODJEM